

藤井寺市子どもの生活に関する実態調査報告書 概要

1. 子どもの生活に関する実態調査の概要

(1) アンケート調査

◇子育て世帯の経済状況と子どもや保護者の状況との関連等の実態を把握し、本市における子どもたちや子育て世帯への支援のあり方の検討に役立てることを目的として、アンケート調査を実施しました。

■調査の概要

| 項目 | 内容 |
|------|--|
| 調査対象 | 藤井寺市内に在住する小学5年生及び中学2年生全員とその保護者 |
| 実施時期 | 令和4年7月1日から7月15日 |
| 実施方法 | 市立小中学校在籍児童生徒とその保護者については学校を通じて配付及び回収 市立小中学校在籍以外の児童生徒については郵送による配付及び回収 |

■回収結果

| | 配付数 | 有効回収数 | 合計有効回収率 |
|-------|---------------------|---------------------|---------|
| 小学5年生 | 学校配布：528 郵送配布：17 | 学校回収：477 郵送回収：6 | 88.6% |
| 中学2年生 | 学校配布：497 郵送配布：82 | 学校回収：419 郵送回収：36 | 78.6% |
| 合計 | 1,124 | 938 | 83.5% |

(2) 団体・支援者調査

◇支援に携わる立場から見た子どもの貧困問題に関する本市の実態や課題を把握することを目的として、子ども支援、子育て支援に関わる団体・機関等を対象として「子どもの貧困対策に係る団体・支援者調査」を実施しました。73件の調査票を配付し、50件の回答を得ました。

■団体・支援者調査の概要

| 項目 | 内容 |
|------|--|
| 調査対象 | 藤井寺市内で子ども、子育て支援に関わる団体・機関等 ※以下の団体・機関に対して調査票を配布 地域子育て支援拠点事業所、子ども食堂、民生委員主任児童委員、コミュニティソーシャルワーカー (CSW)、スクールソーシャルワーカー (SSW)、スクールカウンセラー (SC)、市立学校教員 (校長・教頭等)、放課後児童会支援員、就学前保育施設、支援に関わる市職員 (生活困窮者支援担当、助産師、保健師、家庭児童相談室)、障害児相談支援事業所、子ども子育て連絡会協力団体、その他子育て支援・青少年健全育成関係団体等 |
| 実施時期 | 令和4年7月27日から8月12日 |
| 実施方法 | 各団体・機関に対して電子メール・FAX・手渡し等で調査票を配付・回収 |

2. 貧困・生活困難に関する分析の視点

(1) 相対的貧困世帯

◇本調査で回答された年間の世帯収入から可処分所得額を推計し、それを世帯人員の平方根で割って「等価可処分所得」を算出します。等価可処分所得が直近の国の調査で示された貧困線である 127 万円をしたまわると推定される世帯が相対的貧困世帯となります。

◇本調査における相対的貧困世帯の割合は以下の通りです。

| 学年 | N | 相対的貧困世帯 | | 非相対的貧困世帯 | | 判定不能 | |
|-------|-----|---------|------|----------|------|------|------|
| | | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| 小学5年生 | 483 | 45 | 9.3 | 378 | 78.3 | 60 | 12.4 |
| 中学2年生 | 455 | 46 | 10.1 | 340 | 74.7 | 69 | 15.2 |
| 全体 | 938 | 91 | 9.7 | 718 | 76.5 | 129 | 13.8 |

※判定不能は、相対的貧困世帯の判定に必要な世帯人員と世帯収入のいずれかが無回答であったものです。本調査における本市の貧困率（小学5年生と中学2年生の平均）は、判定不能を除くと 11.2%、国全体における子ども（17歳以下）がいる現役世帯の貧困率は 12.6%（新基準では 13.1%、令和元年国民生活基礎調査）ですが、調査対象・方法が異なるため本調査との単純な比較はできません。

(2) 「等価世帯収入」に基づく所得段階区分

◇国が令和3年12月に公表した「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」の手法に習い、年間の世帯収入を世帯人員の平方根で割った「等価世帯収入」を算出し、全体を3つの所得区分に分類します。

◇3区分で比較でき、今後の国調査等との比較が可能となる見込みから、本報告書における基本となる分析軸とします。

| 学年 | N | 所得区分1 (中央値以上) | | 所得区分2 (中央値未満、中央値 の2分の1以上) | | 所得区分3 (中央値の2分の 1未満) | | 判定不能 | |
|-------|-----|------------------|------|---------------------------------|------|---------------------------|-----|------|------|
| | | 件 | % | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| 小学5年生 | 483 | 218 | 45.1 | 164 | 34.0 | 41 | 8.5 | 60 | 12.4 |
| 中学2年生 | 455 | 198 | 43.5 | 145 | 31.9 | 43 | 9.5 | 69 | 15.2 |
| 全体 | 938 | 416 | 44.3 | 309 | 32.9 | 84 | 9.0 | 129 | 13.8 |

※本調査では中央値 290.7 万円（国調査では 317.54 万円）、中央値の2分の1は 145.3 万円（国調査では 158.77 万円となっています）。

(3) 経済的困難世帯

◇生活困難の状況に焦点を当て、生活必需品非所有、生活費用支払困難、食料購入困難（ときどき以上）世帯、衣服購入困難（ときどき以上）のいずれかにあてはまる世帯を「経済的困難世帯」とします。経済的困難世帯の割合は以下の通りです。

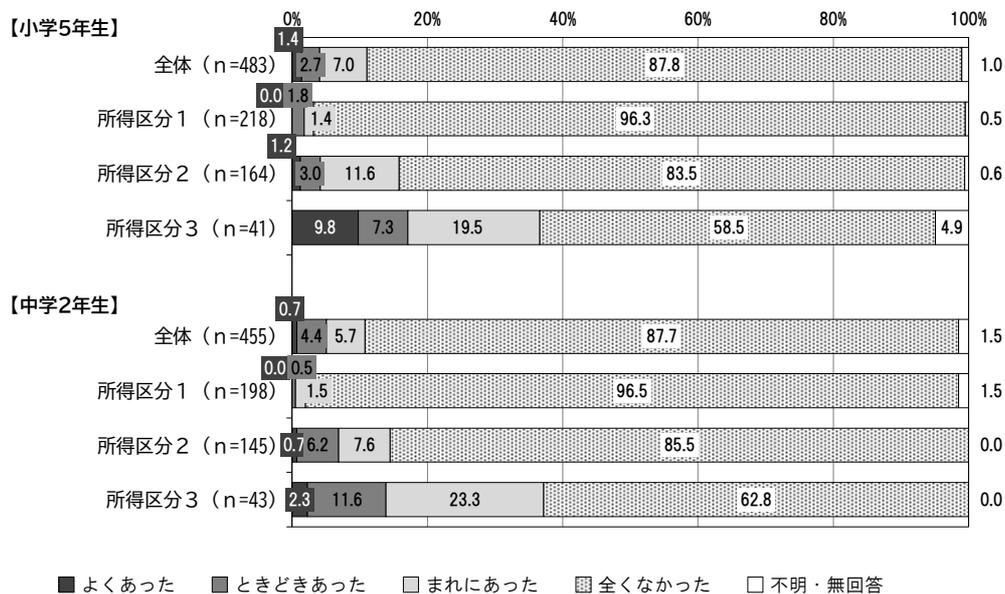
| 学年 | N | 経済的困難世帯 | | 非経済的困難世帯 | | 判定不能 | |
|-------|-----|---------|------|----------|------|------|-----|
| | | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| 小学5年生 | 483 | 86 | 17.8 | 379 | 78.5 | 18 | 3.7 |
| 中学2年生 | 455 | 85 | 18.7 | 355 | 78.0 | 15 | 3.3 |
| 全体 | 938 | 171 | 18.2 | 734 | 78.3 | 33 | 3.5 |

3. 主な調査結果

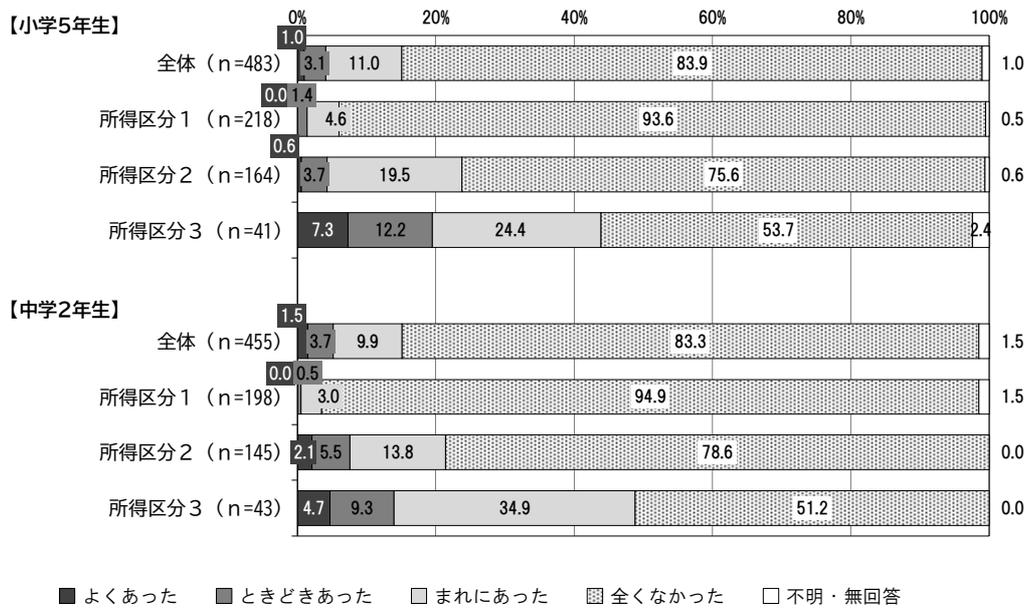
(1) 子育て世帯の経済状況について

- ◇食料・衣服の購入困難、ライフライン関連費用や学校で必要なお金の未払い経験等も含め、絶対的な貧困とも評価すべき状況が一部に存在。【図 1-1~4】
- ◇経済的に厳しい世帯においては、日本語以外の言語を使用している割合もやや高く、外国にルーツを持つ家庭が経済的に厳しい状況に陥りやすい。【図 1-5】
- ◇子どもの将来のための貯蓄については、「するつもりはない」という回答は家庭の経済状況に関わらずほぼなかったのに対し、経済的に厳しい世帯ほど「貯蓄をしたいが、できていない」が多く、家庭の経済状況による格差が大きい。【図 1-6】
- ◇新型コロナウイルス感染症の影響は、経済的に厳しい世帯ほど大きく、感染症拡大の影響で経済的に厳しい状況に追い込まれた、またはより厳しい状況に陥った世帯が少なくない。団体・支援者調査においても、感染症拡大の影響での失業の事例が複数報告されている。【図 1-7~8】
- ◆団体・支援者調査において、経済的に厳しい状況で生活している子どもの事例が報告されている。【図 1-9】

■ 図 1-1：過去 1 年の間にお金が足りなくて家族が必要とする食料が買えなかったこと（保護者）



■ 図 1-2：過去 1 年の間にお金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えなかったこと（保護者）



■ 図 1-3：経済的理由のために家庭にないもの（保護者）

単位：%

| | | 子どもの年齢に合った本 | 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ | 子どもが自宅で宿題をすることができる場所 | 洗濯機 | 炊飯器 | 掃除機 | 暖房機器（エアコンを含む） | 冷房機器（エアコンを含む） | 電子レンジ |
|-------|---------------|-------------|------------------|----------------------|-----|-----|-----|---------------|---------------|-------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 2.5 | 2.1 | 2.1 | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 0.6 | 1.2 | 0.6 |
| | 所得区分1 (n=218) | 0.5 | 0.9 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.9 | 0.9 |
| | 所得区分2 (n=164) | 3.7 | 2.4 | 2.4 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=41) | 9.8 | 7.3 | 12.2 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 4.9 | 4.9 | 2.4 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 3.7 | 2.6 | 3.7 | 0.2 | 0.7 | 0.4 | 0.7 | 0.4 | 0.2 |
| | 所得区分1 (n=198) | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分2 (n=145) | 4.8 | 2.1 | 6.9 | 0.0 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=43) | 14.0 | 11.6 | 4.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

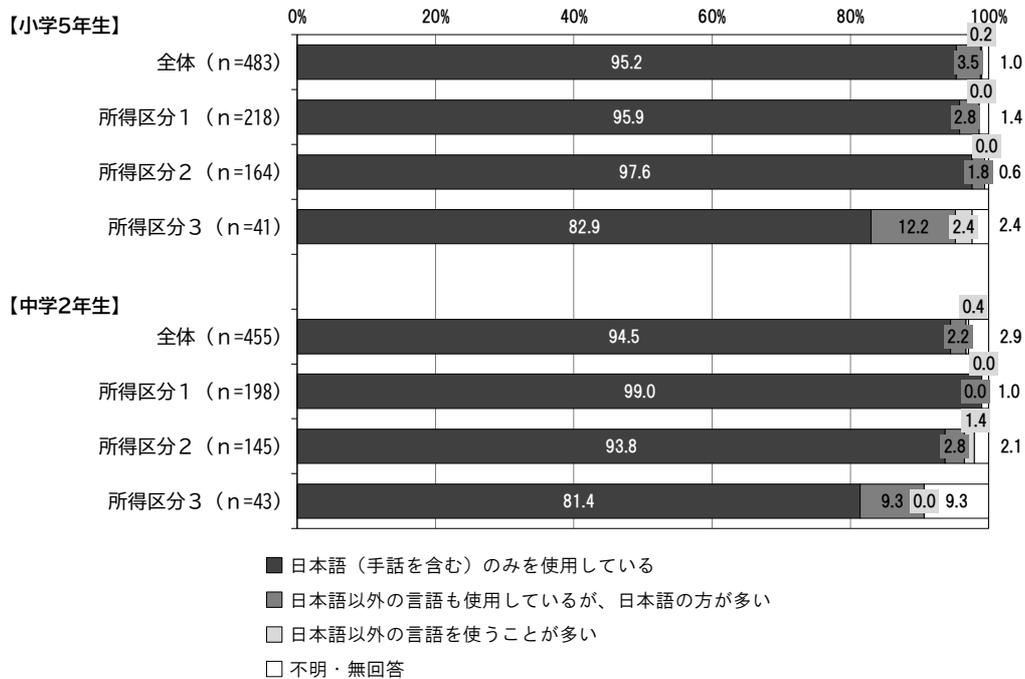
| | | 電話（固定電話・携帯電話を含む） | 世帯専用のおふろ | 世帯人数分のベッドまたは布団 | 急な出費のための貯金または現金（5万円以上） | パソコン（タブレット含む） | あてはまるものはない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|------------------|----------|----------------|------------------------|---------------|------------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 0.6 | 0.2 | 1.4 | 11.6 | 7.9 | 79.9 | 2.7 |
| | 所得区分1 (n=218) | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 4.1 | 2.8 | 92.2 | 1.4 |
| | 所得区分2 (n=164) | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 17.7 | 12.2 | 71.3 | 1.2 |
| | 所得区分3 (n=41) | 4.9 | 2.4 | 12.2 | 34.1 | 26.8 | 46.3 | 2.4 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 2.0 | 0.2 | 2.4 | 10.5 | 5.5 | 80.2 | 2.4 |
| | 所得区分1 (n=198) | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 1.0 | 93.4 | 1.5 |
| | 所得区分2 (n=145) | 1.4 | 0.0 | 2.8 | 15.9 | 9.7 | 73.1 | 1.4 |
| | 所得区分3 (n=43) | 7.0 | 0.0 | 7.0 | 30.2 | 11.6 | 53.5 | 4.7 |

■ 図 1-4：過去 1 年の間に経済的な理由で払えなかった料金（保護者）

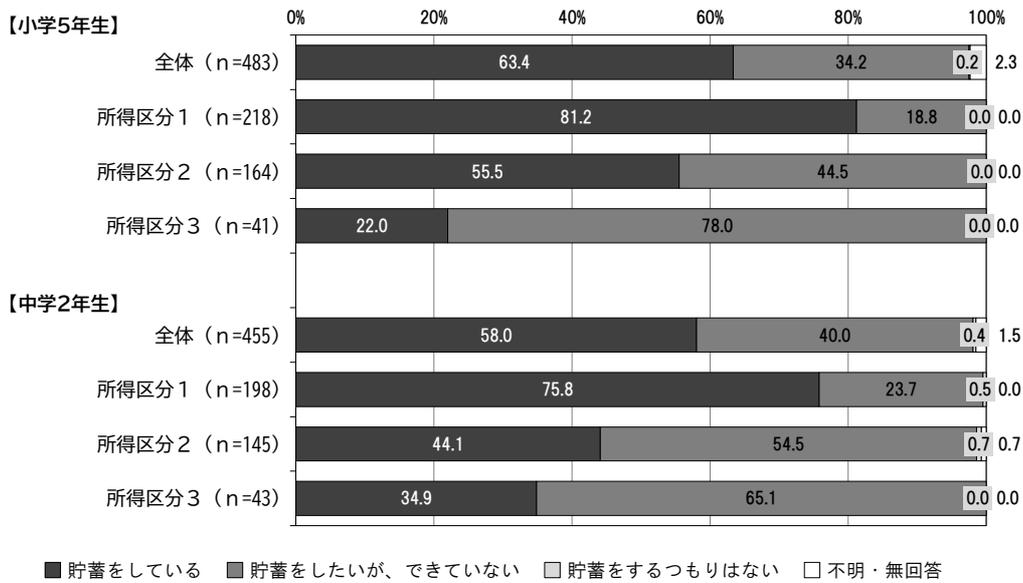
単位：%

| | | 電気料金 | ガス料金 | 水道料金 | 電話料金 (携帯電話・スマートフォン の料金を含む) | 家賃 | 公的年金・健康 保険などの保険料 | 所得税や 住民税などの税金 | 子どもの 学校で必 要なお金 | あてはま るもの はない | 不明・無回 答 |
|---------------|----------------|------|------|------|----------------------------------|------|---------------------|------------------|----------------------|--------------------|------------|
| 小学 5 年生 | 全体 (n=483) | 1.4 | 1.2 | 2.5 | 1.9 | 1.9 | 4.1 | 3.7 | 3.9 | 88.4 | 2.5 |
| | 所得区分 1 (n=218) | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 1.4 | 0.9 | 0.9 | 97.2 | 0.9 |
| | 所得区分 2 (n=164) | 1.2 | 0.6 | 3.0 | 1.8 | 1.8 | 4.9 | 5.5 | 4.9 | 85.4 | 1.2 |
| | 所得区分 3 (n=41) | 9.8 | 9.8 | 12.2 | 12.2 | 12.2 | 17.1 | 12.2 | 19.5 | 63.4 | 2.4 |
| 中学 2 年生 | 全体 (n=455) | 2.0 | 1.8 | 3.3 | 3.5 | 2.2 | 4.0 | 4.2 | 3.7 | 86.8 | 2.4 |
| | 所得区分 1 (n=198) | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 1.0 | 0.5 | 98.0 | 1.0 |
| | 所得区分 2 (n=145) | 2.1 | 2.1 | 4.8 | 5.5 | 1.4 | 4.1 | 6.2 | 3.4 | 82.1 | 1.4 |
| | 所得区分 3 (n=43) | 4.7 | 7.0 | 9.3 | 4.7 | 14.0 | 14.0 | 11.6 | 16.3 | 60.5 | 2.3 |

■ 図 1-5：家庭における日本語以外の言語の使用状況（保護者）



■ 図 1-6：子どもの将来の為に貯蓄をしているか（保護者）



■ 図 1-7：新型コロナウイルス感染症の拡大によって経験したこと（保護者）

単位：%

| 母親 | | 収入の減少 | 失業 | 希望しない働き方への変更 | 上記のようなことは経験していない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|-------|-----|--------------|------------------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 20.3 | 1.0 | 5.6 | 68.9 | 6.6 |
| | 所得区分1 (n=218) | 14.2 | 0.5 | 5.0 | 79.4 | 3.7 |
| | 所得区分2 (n=164) | 22.0 | 1.2 | 6.1 | 66.5 | 6.1 |
| | 所得区分3 (n=41) | 58.5 | 4.9 | 7.3 | 29.3 | 7.3 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 20.2 | 1.8 | 7.3 | 65.1 | 10.1 |
| | 所得区分1 (n=198) | 13.1 | 0.0 | 5.6 | 78.8 | 5.1 |
| | 所得区分2 (n=145) | 24.1 | 0.7 | 8.3 | 57.2 | 13.8 |
| | 所得区分3 (n=43) | 30.2 | 4.7 | 11.6 | 51.2 | 11.6 |

| 父親 | | 収入の減少 | 失業 | 希望しない働き方への変更 | 上記のようなことは経験していない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|-------|-----|--------------|------------------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 24.8 | 0.8 | 2.9 | 59.8 | 13.7 |
| | 所得区分1 (n=218) | 19.3 | 0.0 | 2.3 | 73.4 | 5.5 |
| | 所得区分2 (n=164) | 33.5 | 1.2 | 4.3 | 53.7 | 10.4 |
| | 所得区分3 (n=41) | 22.0 | 2.4 | 2.4 | 9.8 | 68.3 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 22.0 | 2.0 | 2.9 | 62.2 | 13.2 |
| | 所得区分1 (n=198) | 14.1 | 0.0 | 1.0 | 82.3 | 2.5 |
| | 所得区分2 (n=145) | 30.3 | 3.4 | 5.5 | 53.8 | 12.4 |
| | 所得区分3 (n=43) | 25.6 | 4.7 | 4.7 | 18.6 | 51.2 |

■ 図 1-8：団体・支援者調査における感染症拡大の影響での失業の事例

| | |
|---------|---|
| 助産師 | コロナで仕事がなくなり、妊娠が分かった。パートナーもコロナで仕事が減り赤字の中、どうやって生活していけばいいのか、と涙流して話される。 |
| 支援団体 | コロナ禍で失業された方が何名かいらっしゃいます。 |
| 保育施設 | コロナ禍でリストラにあった家族など社会情勢と共に家庭状況も厳しい家庭が多くなってきていると感じる。 |
| 家庭児童相談室 | 困窮に関する相談内容については、新型コロナウイルス感染症の拡大による収入減が影響しているケースがあった。 |

■ 図 1-9：団体・支援者調査における経済的に厳しい状況で生活している子どもの事例

| | |
|--------|---|
| 保育施設 | 保育徴収金の引き落とし不能となった場合や、離婚された時の養育費等の問題を聞いた時に経済的に厳しい生活ではないかと感じることがある。 |
| 支援拠点 | 過去に来館していた親子は経済的に厳しいのではないかと感じられました。子どもが着用している洋服の種類数が少なく、数日間同じ服を着ていることもありました。また、子どもの体臭がきつく感じることも多かったです。 |
| 学校 | 経済的に厳しい状態での転入で、諸費の滞納等がある。就学援助や生活保護の申請を保護者へ促したり、市役所の部署に相談したりした。 |
| 保健師 | 未婚や支援してくれる家族がいないため、出産後すぐから経済面の困難がある。保護者の能力不足により、お金の管理ができないため、教育や育児にお金を使えない。DV等も含めてパートナーにお金を管理されているために、十分なお金を使えない。 |
| 放課後児童会 | 昼食時、菓子パン1個のみ等が続いている児童が以前も現在もいる。 |
| 支援団体 | 経済的には安定していても、汚れた衣服、季節に合っていない衣服、サイズのあっていない衣服又はくつをはいていることがある。又、食事が簡潔なものや賞味期限の切れた食べもの（パン、惣菜等）になっている状況。 |

(2) ひとり親世帯の状況について

◇所得区分3におけるひとり親世帯の割合が高い（全国調査より高い）。【図 2-1～2】

◇全国調査と比較して養育費の受け取り率が低い。【図 2-3】

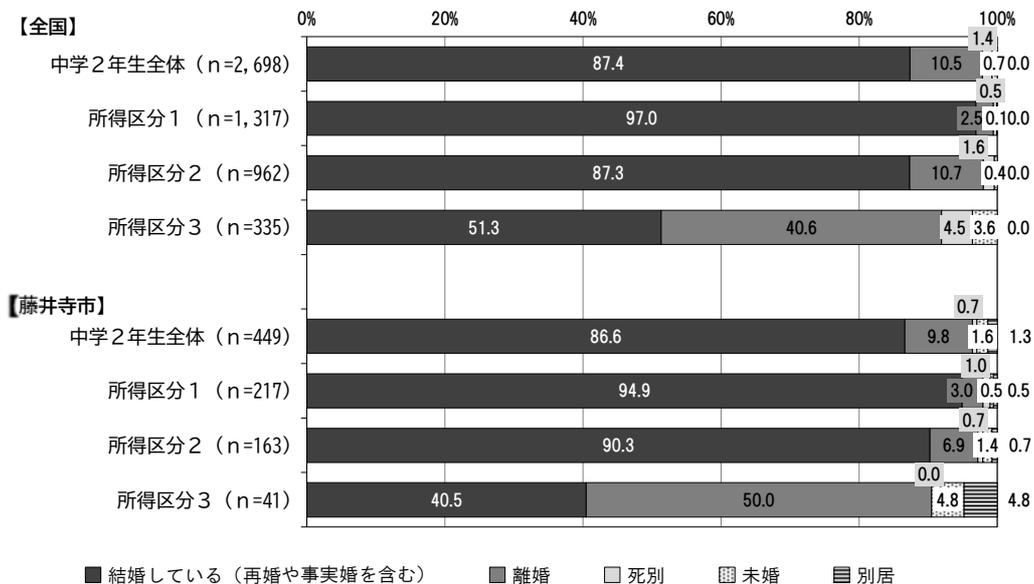
◇母親の就労における新型コロナウイルス感染症の影響は、ひとり親世帯ほど大きく、感染症拡大の影響で経済的に厳しい状況に追い込まれた、またはより厳しい状況に陥った世帯が少ない。【図 2-4】

■ 図 2-1：親の婚姻の状況（保護者）

単位：％

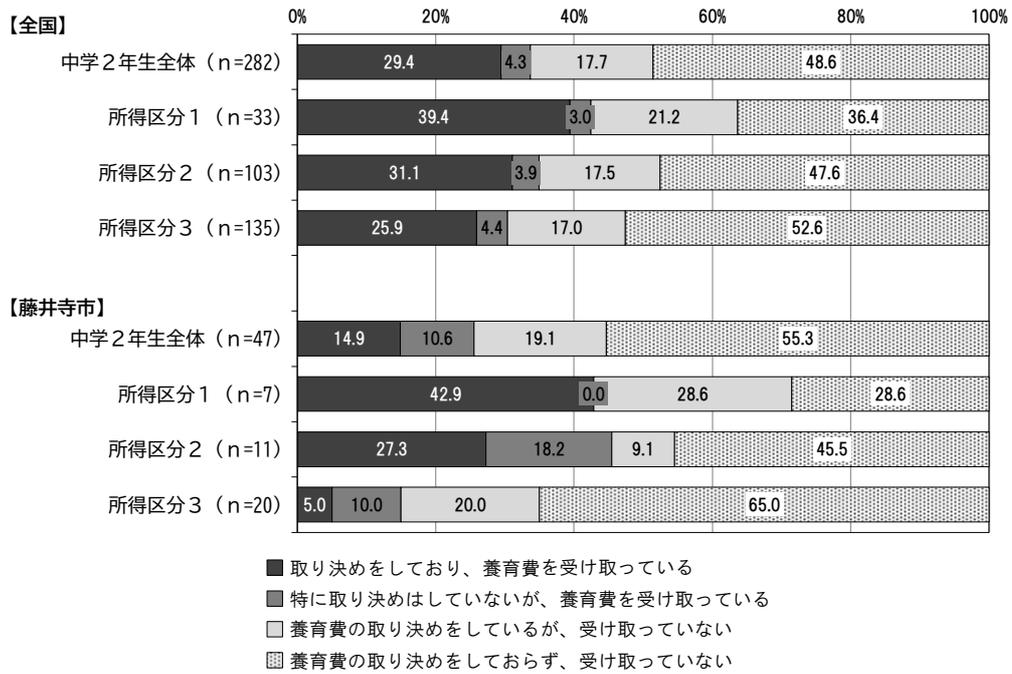
| | | 結婚している（再婚や事実婚を含む） | 離婚 | 死別 | 未婚 | 別居 | 不明・無回答 |
|-------|--------------|-------------------|------|-----|-----|-----|--------|
| 小学5年生 | 全体（n=483） | 86.5 | 10.4 | 0.6 | 0.4 | 1.2 | 0.8 |
| | 所得区分1（n=218） | 94.0 | 4.6 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 0.5 |
| | 所得区分2（n=164） | 91.5 | 6.7 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 0.6 |
| | 所得区分3（n=41） | 24.4 | 65.9 | 0.0 | 2.4 | 7.3 | 0.0 |
| 中学2年生 | 全体（n=455） | 85.5 | 9.7 | 0.7 | 1.5 | 1.3 | 1.3 |
| | 所得区分1（n=198） | 94.4 | 3.0 | 1.0 | 0.5 | 0.5 | 0.5 |
| | 所得区分2（n=145） | 89.7 | 6.9 | 0.7 | 1.4 | 0.7 | 0.7 |
| | 所得区分3（n=43） | 39.5 | 48.8 | 0.0 | 4.7 | 4.7 | 2.3 |

■ 図 2-2：親の婚姻の状況の全国調査との比較（中2保護者）



※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

■ 図 2-3：ひとり親世帯の養育費の受け取り状況の全国調査との比較（中2保護者）



※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

■ 図 2-4：世帯類型別にみた母親の就労状況と感染症拡大の影響（保護者）

単位：%

| | | 感染症拡大の就労への影響【母親】 | | | | |
|---------|---------------------|------------------|-------|------|-------------|------------------|
| | | n | 収入の減少 | 失業 | 希望しない働き方の変更 | 上記のようなことは経験していない |
| 非ひとり親世帯 | 正社員・正規職員・会社役員 | 178 | 10.7 | 0.6 | 5.6 | 85.4 |
| | 嘱託・契約社員・派遣職員 | 35 | 22.9 | 0.0 | 8.6 | 74.3 |
| | パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 | 341 | 26.4 | 1.2 | 8.5 | 67.4 |
| | 自営業 | 67 | 41.8 | 0.0 | 6.0 | 55.2 |
| | 賃金を得られる仕事をしていない | 127 | 4.7 | 1.6 | 1.6 | 93.7 |
| ひとり親世帯 | 正社員・正規職員・会社役員 | 34 | 20.6 | 0.0 | 5.9 | 73.5 |
| | 嘱託・契約社員・派遣職員 | 7 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 71.4 |
| | パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 | 42 | 40.5 | 0.0 | 14.3 | 50.0 |
| | 自営業 | 3 | 66.7 | 0.0 | 33.3 | 33.3 |
| | 賃金を得られる仕事をしていない | 17 | 47.1 | 23.5 | 11.8 | 41.2 |

※小学5年生と中学2年生の合計での集計

(3) 子どもの生活習慣について

- ◇経済的に厳しい世帯では朝食や長期休業中の昼食の頻度がやや低く、起床時刻が決まっていない、就寝時刻が遅い等の傾向。【図 3-1～4】
- ◇所得区分が低いほど、「テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている」割合が低く、子どもがテレビ、ゲーム、インターネット等をする時間が長い傾向。【図 3-5～8】
- ◇特に小学5年生で、経済的に厳しい世帯の子どもの方が遅刻の頻度が高く、欠席の頻度も、経済的に厳しい世帯で高い傾向。【図 3-9～10】

■図 3-1：朝食の頻度（子ども）

単位：%

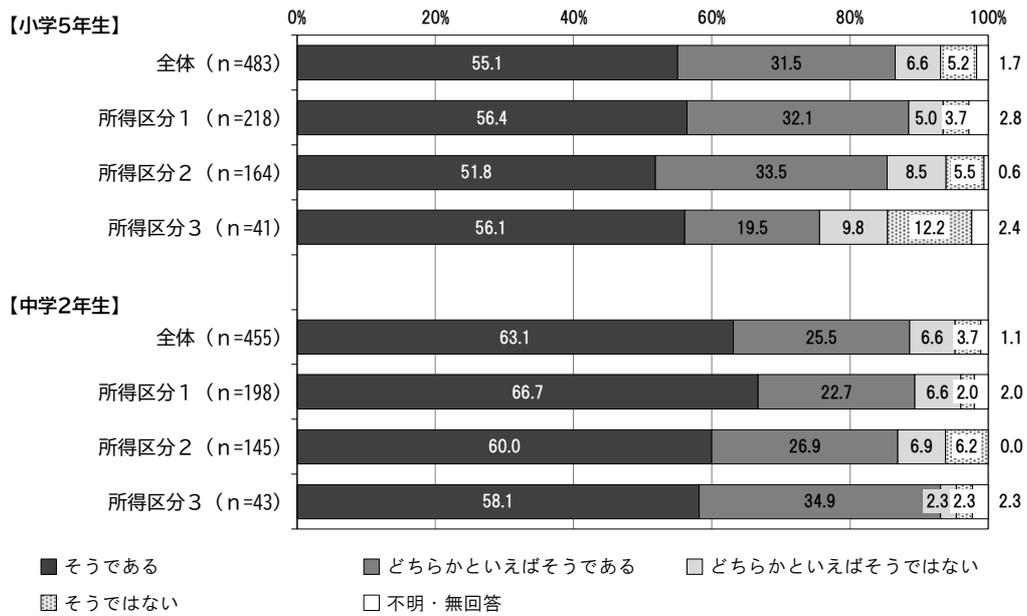
| | | ほとんど毎日 | 週に4～5回 | 週に2～3回 | 週に1回程度 | 月に1～2回 | ほとんどない | まったくない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 89.2 | 3.1 | 1.9 | 0.8 | 0.2 | 1.7 | 1.7 | 1.4 |
| | 所得区分1 (n=218) | 91.3 | 2.8 | 0.5 | 1.4 | 0.5 | 0.5 | 0.9 | 2.3 |
| | 所得区分2 (n=164) | 88.4 | 3.7 | 3.0 | 0.6 | 0.0 | 1.8 | 1.8 | 0.6 |
| | 所得区分3 (n=41) | 82.9 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.9 | 4.9 | 2.4 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 82.9 | 7.3 | 4.2 | 0.7 | 0.7 | 2.2 | 1.1 | 1.1 |
| | 所得区分1 (n=198) | 82.8 | 6.1 | 2.0 | 1.0 | 0.5 | 4.0 | 1.5 | 2.0 |
| | 所得区分2 (n=145) | 85.5 | 9.0 | 3.4 | 0.0 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=43) | 72.1 | 9.3 | 16.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.3 |

■図 3-2：夏休みや冬休みなどの学校が休みの日の昼食（子ども）

単位：%

| | | ほとんど毎日 | 週に4～5回 | 週に2～3回 | 週に1回程度 | 月に1～2回 | ほとんどない | まったくない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 93.8 | 3.1 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 2.3 |
| | 所得区分1 (n=218) | 95.0 | 1.8 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.3 |
| | 所得区分2 (n=164) | 94.5 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| | 所得区分3 (n=41) | 78.0 | 9.8 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 7.3 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 87.7 | 8.4 | 1.5 | 0.7 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 1.1 |
| | 所得区分1 (n=198) | 86.9 | 8.6 | 1.0 | 1.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 2.0 |
| | 所得区分2 (n=145) | 91.7 | 5.5 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=43) | 79.1 | 14.0 | 2.3 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.3 |

■ 図 3-3：ふだん（月曜日～金曜日）ほぼ同じ時刻に起きているか（子ども）

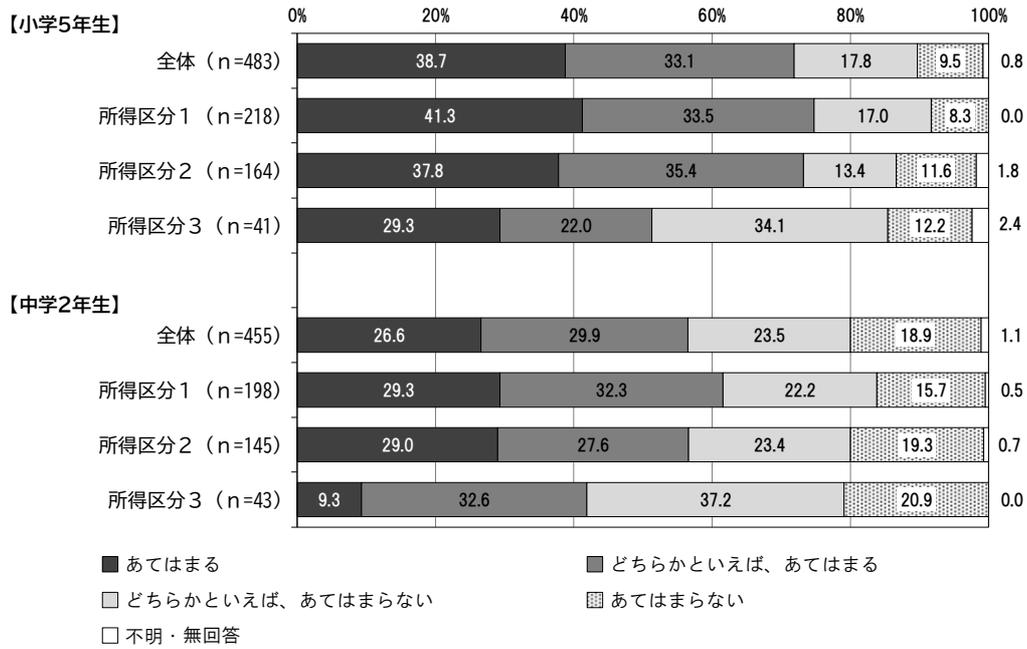


■ 図 3-4：ふだん（月曜日～金曜日）何時に寝ているか（子ども）

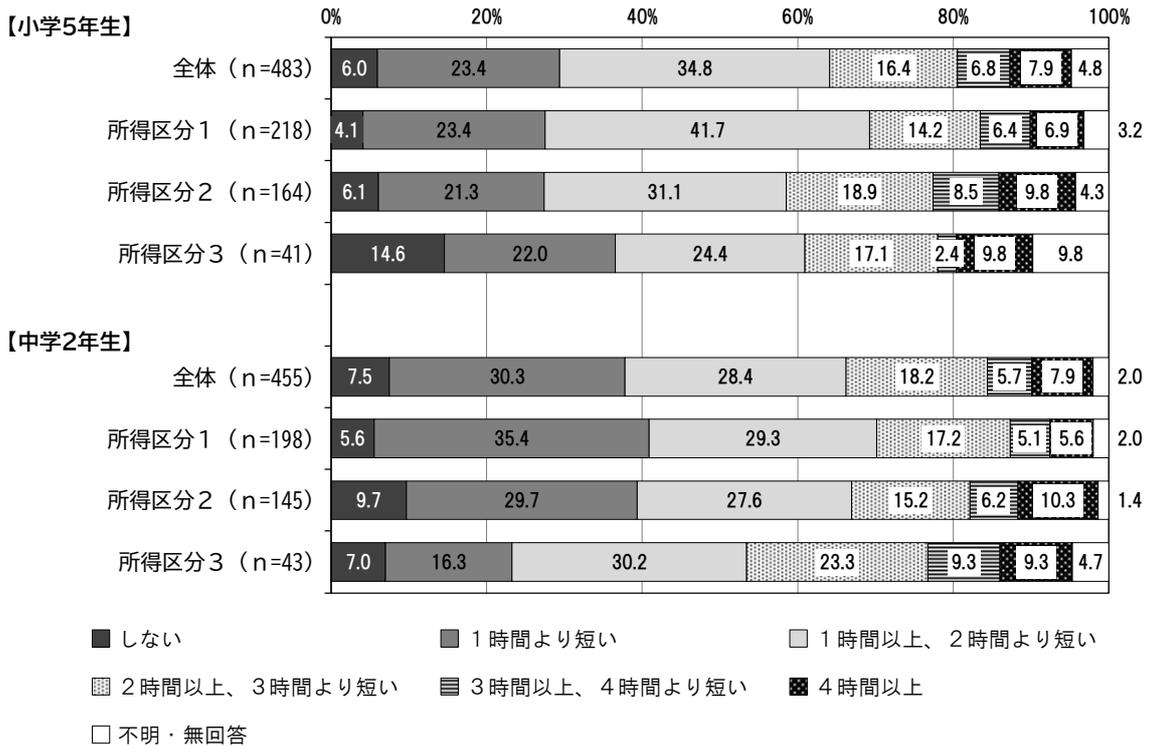
単位：%

| 学年 | 所得区分 | n | 午後9時より前 | 午後9時台 | 午後10時台 | 午後11時台 | 午前0時台 | 午前1時より後 | きまっていない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|------------|---------|------------|--------|--------|-------|---------|---------|--------|
| | | | 小学5年生 | 全体 (n=483) | 4.1 | 28.8 | 40.2 | 13.5 | 2.5 | 0.2 |
| 小学5年生 | 所得区分1 (n=218) | 4.1 | 27.1 | 45.4 | 11.9 | 1.8 | 0.5 | 6.4 | 2.8 | |
| | 所得区分2 (n=164) | 3.7 | 28.7 | 40.9 | 13.4 | 3.0 | 0.0 | 8.5 | 1.8 | |
| | 所得区分3 (n=41) | 4.9 | 22.0 | 26.8 | 19.5 | 4.9 | 0.0 | 19.5 | 2.4 | |
| | 中学2年生 | 全体 (n=455) | 0.9 | 3.1 | 19.8 | 34.9 | 14.1 | 5.7 | 20.4 | 1.1 |
| 中学2年生 | 所得区分1 (n=198) | 0.0 | 3.0 | 17.7 | 37.9 | 18.2 | 6.6 | 14.6 | 2.0 | |
| | 所得区分2 (n=145) | 1.4 | 2.8 | 20.7 | 33.1 | 12.4 | 4.8 | 24.8 | 0.0 | |
| | 所得区分3 (n=43) | 0.0 | 2.3 | 23.3 | 23.3 | 9.3 | 4.7 | 34.9 | 2.3 | |

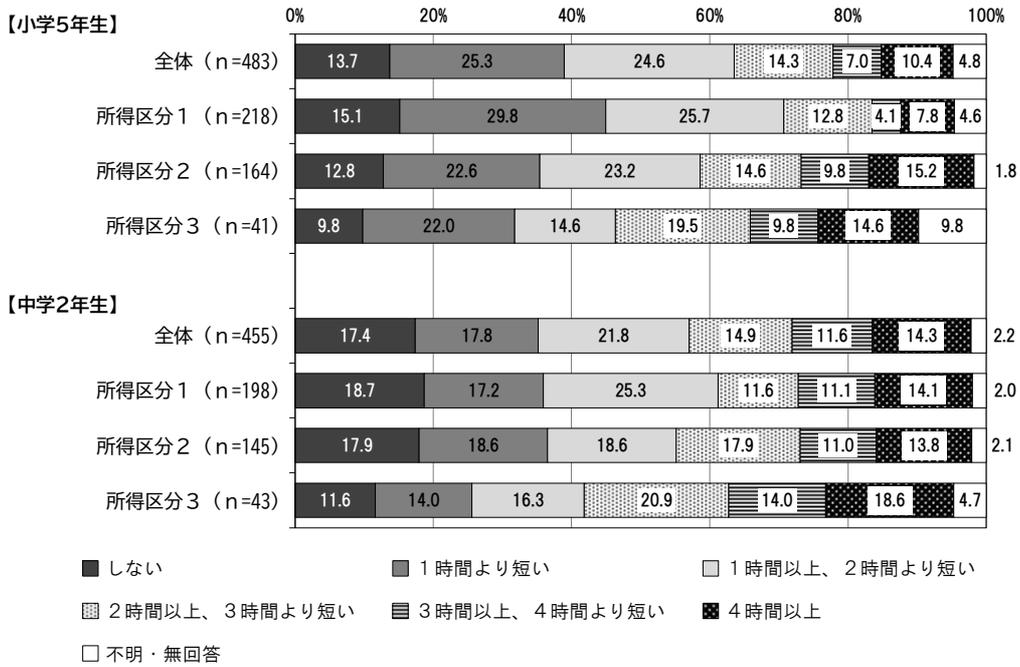
■ 図 3-5：テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている（保護者）



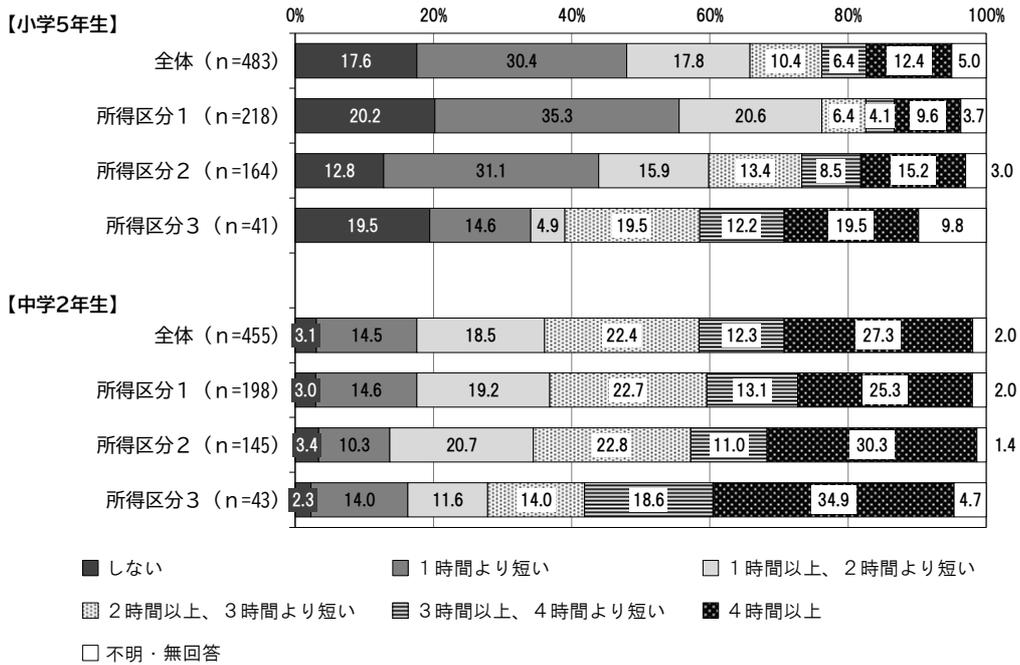
■ 図 3-6：ふだん（月～金曜日）1日あたりテレビ・DVDをみる時間（子ども）



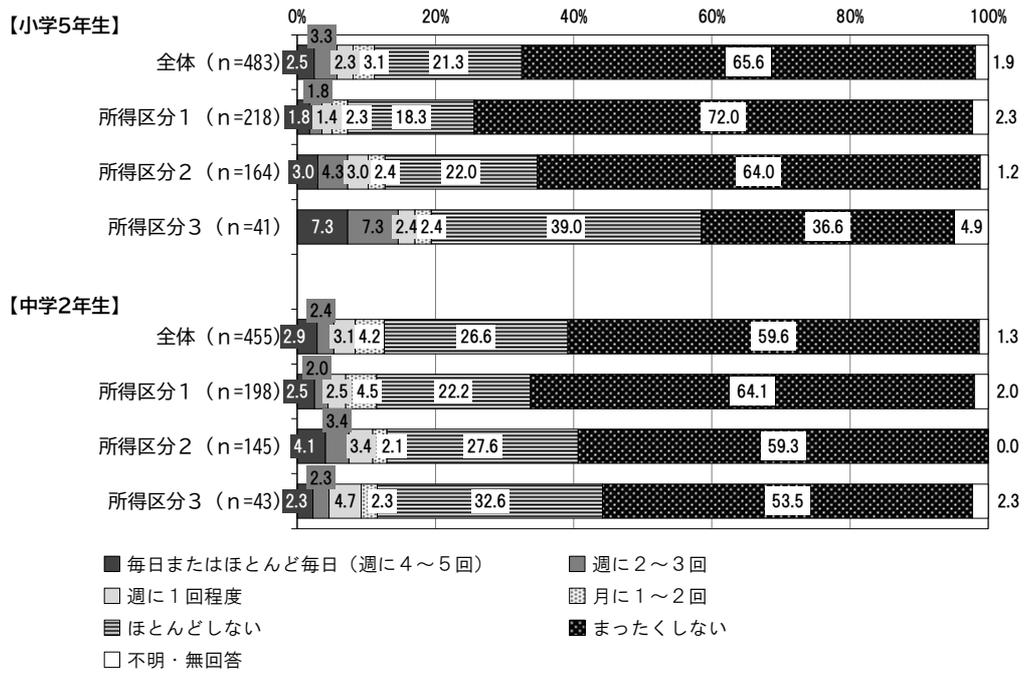
■ 図 3-7：ふだん（月～金曜日）1日あたりゲームをして遊ぶ時間（子ども）



■ 図 3-8：ふだん（月～金曜日）1日あたりインターネット・電話・メール・LINE等をする（動画サイトをみることも含む）時間（子ども）



■ 図 3-9：学校に遅刻することがあるか（子ども）



■ 図 3-10：子どもの通学状況（保護者）

単位：%

| | | ほぼ毎日通っている | 欠席は年間30日未満である | 欠席が年間30日以上、60日未満である | 欠席が年間60日以上、1年未満である | 欠席が1年以上続いている | わからない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|-----------|---------------|---------------------|--------------------|--------------|-------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 93.2 | 4.8 | 0.6 | 0.6 | 0.2 | 0.2 | 0.4 |
| | 所得区分1 (n=218) | 98.2 | 0.9 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分2 (n=164) | 91.5 | 5.5 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 0.6 | 1.2 |
| | 所得区分3 (n=41) | 78.0 | 17.1 | 2.4 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 92.5 | 4.0 | 2.0 | 0.7 | 0.0 | 0.2 | 0.7 |
| | 所得区分1 (n=198) | 93.4 | 3.5 | 2.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.0 |
| | 所得区分2 (n=145) | 94.5 | 3.4 | 0.7 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=43) | 83.7 | 11.6 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.3 |

(4) 子どもの体験・経験

◇家庭における文化的な体験・経験の格差。図書館利用、地域行事への参加など、必ずしも経済的負担を伴うものではないと考えられる項目にも格差が存在。【図 4-1】

◇経済状況にかかわらず文化的な体験が多いほど自己肯定感が高い傾向。【図 4-2】

◇塾や習いごとについては経済状況による差が大きい。【図 4-3】

■図 4-1：家庭における文化的な体験の機会の有無（子ども）

単位：%

| | | 小さいころに本や絵本を読んでもらった | 手作りのおやつを作る | 図書館に行く | 動物園・水族館に行く | 博物館・美術館に行く | コンサートや音楽会に行く | ニュースについて話をする | 辞書やインターネットを活用してしらべものをする | 地域の行事に参加する |
|-------|---------------|--------------------|------------|--------|------------|------------|--------------|--------------|-------------------------|------------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 82.2 | 74.3 | 68.1 | 88.2 | 45.3 | 32.7 | 66.7 | 57.1 | 53.2 |
| | 所得区分1 (n=218) | 85.8 | 75.7 | 74.3 | 88.1 | 52.3 | 39.0 | 73.4 | 64.7 | 56.9 |
| | 所得区分2 (n=164) | 81.7 | 75.0 | 68.9 | 92.1 | 41.5 | 33.5 | 66.5 | 53.7 | 53.0 |
| | 所得区分3 (n=41) | 70.7 | 61.0 | 43.9 | 78.0 | 29.3 | 19.5 | 51.2 | 39.0 | 31.7 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 76.5 | 65.1 | 61.1 | 82.4 | 44.0 | 36.9 | 67.9 | 44.0 | 50.8 |
| | 所得区分1 (n=198) | 80.3 | 67.2 | 64.1 | 84.3 | 43.9 | 43.4 | 71.2 | 49.5 | 52.5 |
| | 所得区分2 (n=145) | 80.0 | 64.8 | 62.8 | 82.8 | 45.5 | 29.0 | 66.9 | 42.8 | 54.5 |
| | 所得区分3 (n=43) | 51.2 | 55.8 | 44.2 | 67.4 | 25.6 | 30.2 | 62.8 | 32.6 | 34.9 |

| | | 泊まりがけで家族旅行に行く | あてはまるものはない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|---------------|------------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 83.2 | 0.6 | 1.2 |
| | 所得区分1 (n=218) | 87.6 | 0.5 | 2.3 |
| | 所得区分2 (n=164) | 82.9 | 0.0 | 0.6 |
| | 所得区分3 (n=41) | 61.0 | 2.4 | 0.0 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 83.7 | 3.1 | 1.1 |
| | 所得区分1 (n=198) | 89.4 | 1.0 | 0.5 |
| | 所得区分2 (n=145) | 78.6 | 3.4 | 1.4 |
| | 所得区分3 (n=43) | 69.8 | 2.3 | 2.3 |

■ 図 4-2：子どもの文化的な活動経験と自己肯定感

単位：%

| | 自分には良いところがある | | | | | 自分に自信がある | | | | | |
|-------|---------------|------|----------------------|----------------------------|------------|----------|------|----------------------|----------------------------|------------|------|
| | n | そう思う | どちらか といえば そう思う | どちらか といえば そう思わ ない | そう思わ ない | n | そう思う | どちらか といえば そう思う | どちらか といえば そう思わ ない | そう思わ ない | |
| 小学5年生 | 所得区分1 / 文化経験高 | 106 | 65.1 | 28.3 | 3.8 | 2.8 | 106 | 49.1 | 38.7 | 6.6 | 5.7 |
| | 所得区分1 / 文化経験低 | 106 | 45.3 | 39.6 | 7.5 | 7.5 | 106 | 22.6 | 40.6 | 23.6 | 13.2 |
| | 所得区分2 / 文化経験高 | 65 | 67.7 | 24.6 | 6.2 | 1.5 | 65 | 44.6 | 35.4 | 12.3 | 7.7 |
| | 所得区分2 / 文化経験低 | 97 | 43.3 | 35.1 | 10.3 | 11.3 | 97 | 22.7 | 33.0 | 25.8 | 18.6 |
| | 所得区分3 / 文化経験高 | 9 | 22.2 | 77.8 | 0.0 | 0.0 | 9 | 22.2 | 44.4 | 22.2 | 11.1 |
| | 所得区分3 / 文化経験低 | 30 | 36.7 | 23.3 | 16.7 | 23.3 | 31 | 25.8 | 25.8 | 12.9 | 35.5 |
| 中学2年生 | 所得区分1 / 文化経験高 | 86 | 34.9 | 46.5 | 12.8 | 5.8 | 86 | 23.3 | 30.2 | 34.9 | 11.6 |
| | 所得区分1 / 文化経験低 | 109 | 30.3 | 44.0 | 18.3 | 7.3 | 109 | 17.4 | 37.6 | 29.4 | 15.6 |
| | 所得区分2 / 文化経験高 | 56 | 35.7 | 46.4 | 12.5 | 5.4 | 56 | 19.6 | 46.4 | 23.2 | 10.7 |
| | 所得区分2 / 文化経験低 | 87 | 26.4 | 39.1 | 18.4 | 16.1 | 87 | 9.2 | 32.2 | 39.1 | 19.5 |
| | 所得区分3 / 文化経験高 | 7 | 28.6 | 57.1 | 0.0 | 14.3 | 7 | 28.6 | 42.9 | 0.0 | 28.6 |
| | 所得区分3 / 文化経験低 | 34 | 26.5 | 35.3 | 26.5 | 11.8 | 34 | 20.6 | 23.5 | 38.2 | 17.6 |

※子どもの文化的な活動経験について、子ども調査の家庭における文化的な体験の機会の有無に関する質問で「あてはまるものはない」以外の10項目のうち、いくつ回答したかによって、文化経験の高低を区分

■ 図 4-3：塾や習いごとの状況（保護者）

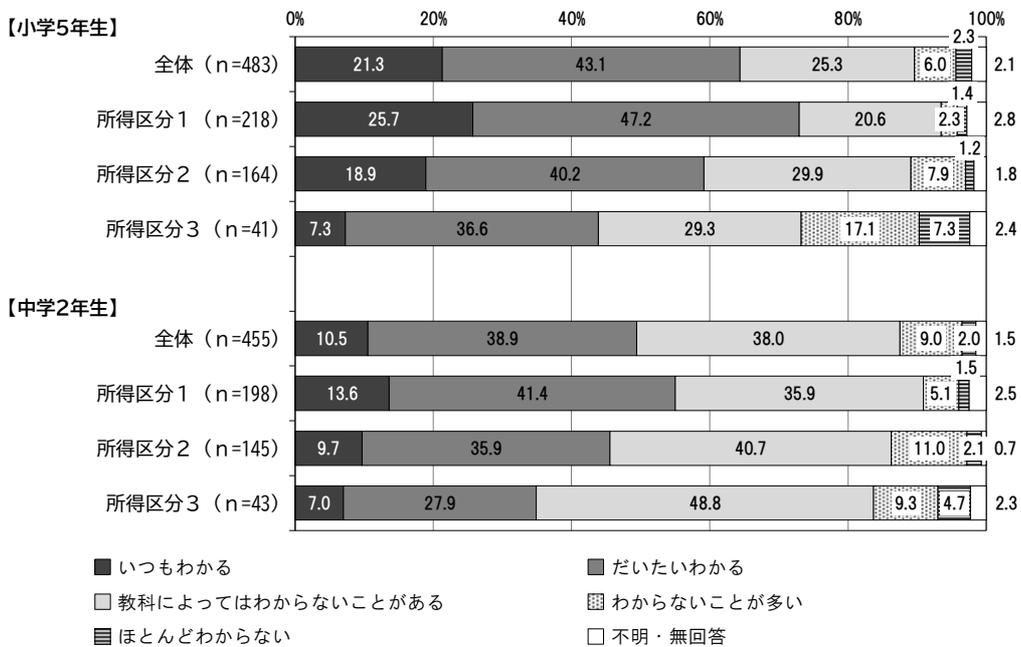
単位：%

| | | 学習塾・ 進学塾 | 家庭教師 | 通信教育 | 英会話・ そろばん などの勉 強の習い 事 | 絵画・音 楽・ダン ス・茶道 などの芸 術の習い 事 | 水泳、野 球、体 操、剣道 などのス ポーツ | 塾や習い 事はして いない | その他 | 不明・無 回答 |
|-------|---------------|-------------|------|------|-----------------------------------|---|------------------------------------|---------------------|-----|------------|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 32.5 | 0.2 | 11.6 | 27.7 | 25.3 | 52.6 | 12.6 | 3.1 | 0.8 |
| | 所得区分1 (n=218) | 43.1 | 0.0 | 16.1 | 32.6 | 26.6 | 58.7 | 6.4 | 2.8 | 0.5 |
| | 所得区分2 (n=164) | 23.8 | 0.0 | 11.0 | 25.6 | 23.8 | 47.6 | 14.6 | 2.4 | 0.6 |
| | 所得区分3 (n=41) | 17.1 | 0.0 | 0.0 | 19.5 | 17.1 | 41.5 | 39.0 | 2.4 | 2.4 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 50.5 | 1.5 | 8.4 | 10.3 | 12.7 | 17.8 | 21.5 | 2.4 | 4.0 |
| | 所得区分1 (n=198) | 61.6 | 1.5 | 9.1 | 11.1 | 15.2 | 21.2 | 13.6 | 2.0 | 2.5 |
| | 所得区分2 (n=145) | 48.3 | 1.4 | 8.3 | 10.3 | 9.7 | 16.6 | 24.1 | 2.1 | 2.1 |
| | 所得区分3 (n=43) | 30.2 | 0.0 | 4.7 | 2.3 | 16.3 | 7.0 | 41.9 | 2.3 | 7.0 |

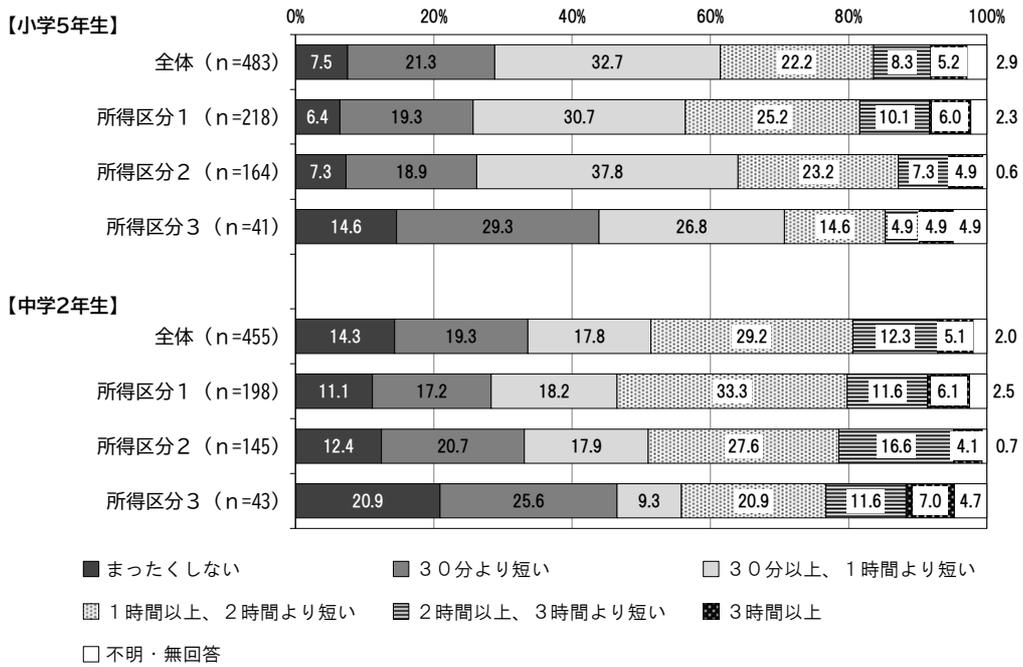
(5) 学習・教育について

- ◇経済的に厳しい世帯の子どもほど、授業の理解度が低く学習時間が少ない。【図 5-1～2】
- ◇学校以外の学習の場について、経済的に厳しい世帯の子どもほど「塾で勉強する」が少なく、「学校の授業以外で勉強はしない」が多い。関連して、通塾での学習についても家庭の経済状況による格差がある。【図 5-3】
- ◇中学2年生は全国調査と比べて「まったくしない」「30分より短い」が多い一方、所得区分2・3については、2時間以上の回答が全国調査より多く2極化の傾向。【図 5-4】
- ◇経済状況と授業の理解度が関連する傾向。中学2年生では、全国調査と比べて「わからないことが多い」「ほとんどわからない」がやや少ない。【図 5-5】
- ◇小学5年生の経済的に厳しい世帯では勉強を家の人に見てもらうことが少なく、子どもの年齢に合った本や宿題をできる環境が家に無いことがやや多い。【図 5-3、1-3】

■ 図 5-1：学校の授業がわからないことがあるか（子ども）



■ 図 5-2：平日の授業以外の学習時間（子ども）



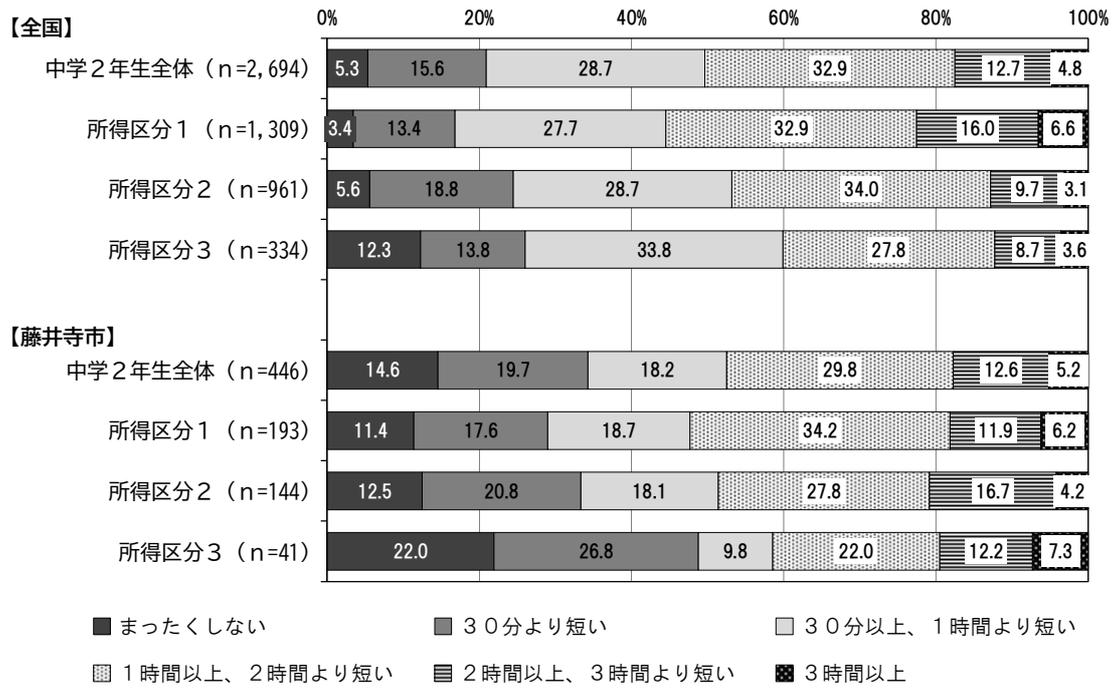
■ 図 5-3：ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているか（子ども）

単位：%

| 学年 | 所得区分 | 人数 (n) | 自分で勉強する | 塾で勉強する | 学校の補習を受ける | 家庭教師に教えてもらう | 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する | おうちの人に教えてもらう | ともだちと勉強する | その他 |
|-------|-------|--------|---------|--------|-----------|-------------|----------------------|--------------|-----------|------|
| 小学5年生 | 全体 | 483 | 58.6 | 36.0 | 3.7 | 0.6 | 0.0 | 44.9 | 23.8 | 8.1 |
| | 所得区分1 | 218 | 60.6 | 42.7 | 3.2 | 0.5 | 0.0 | 48.6 | 26.1 | 7.8 |
| | 所得区分2 | 164 | 60.4 | 32.9 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 47.0 | 26.8 | 10.4 |
| | 所得区分3 | 41 | 58.5 | 22.0 | 9.8 | 0.0 | 0.0 | 29.3 | 14.6 | 4.9 |
| 中学2年生 | 全体 | 455 | 67.0 | 51.9 | 7.3 | 1.8 | 0.0 | 21.1 | 26.6 | 3.1 |
| | 所得区分1 | 198 | 68.2 | 61.1 | 6.1 | 1.0 | 0.0 | 24.2 | 26.8 | 3.5 |
| | 所得区分2 | 145 | 66.9 | 49.0 | 4.1 | 2.1 | 0.0 | 17.2 | 24.8 | 2.8 |
| | 所得区分3 | 43 | 58.1 | 34.9 | 14.0 | 4.7 | 0.0 | 16.3 | 32.6 | 0.0 |

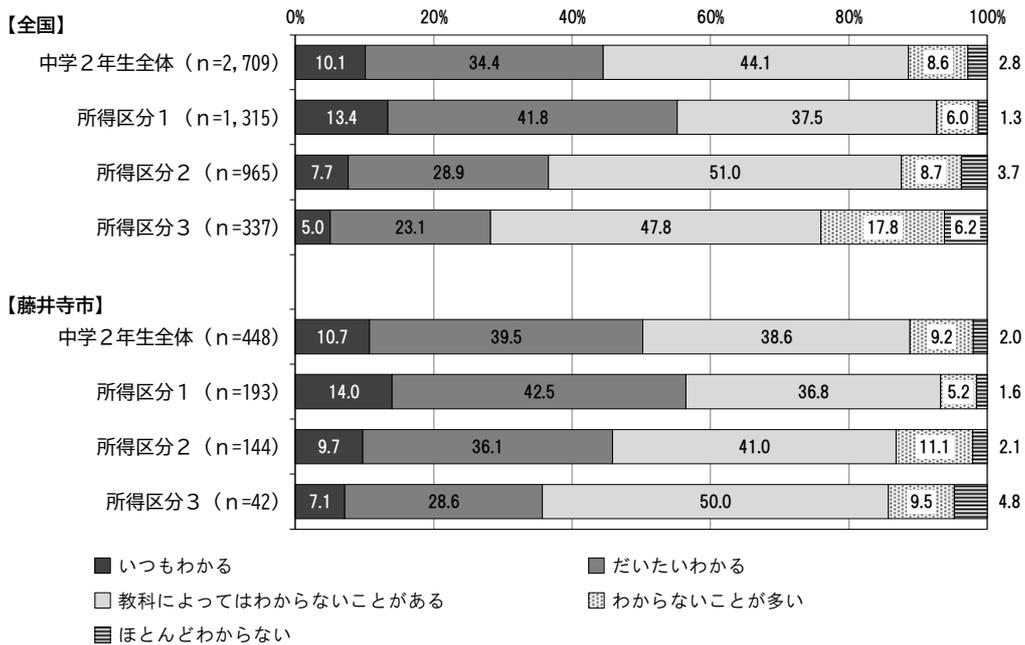
| 学年 | 所得区分 | 人数 (n) | 学校の授業以外で勉強はしない | 不明・無回答 |
|-------|-------|--------|----------------|--------|
| 小学5年生 | 全体 | n= | 11.2 | 3.7 |
| | 所得区分1 | n=合計 | 8.3 | 3.2 |
| | 所得区分2 | n=100 | 9.1 | 1.8 |
| | 所得区分3 | n=100 | 22.0 | 7.3 |
| 中学2年生 | 全体 | n= | 7.3 | 2.0 |
| | 所得区分1 | n= | 5.1 | 2.0 |
| | 所得区分2 | n= | 5.5 | 2.1 |
| | 所得区分3 | n= | 18.6 | 4.7 |

■ 図 5-4：平日の授業以外の学習時間の全国調査との比較（中2子ども）



※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

■ 図 5-5：学校の授業の理解度の全国調査との比較（中2子ども）



※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

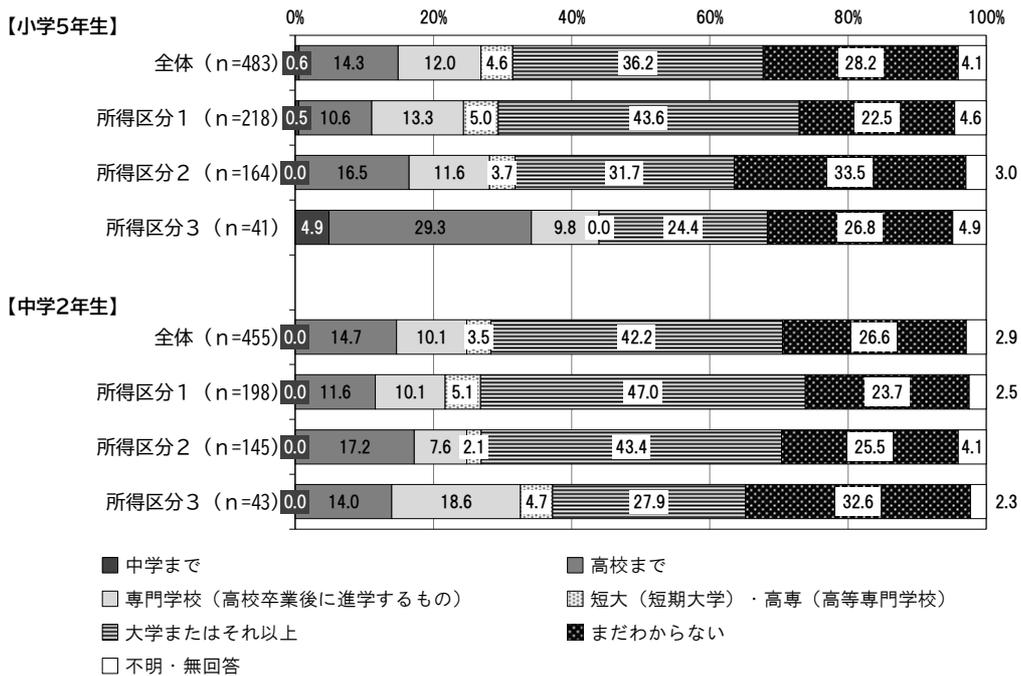
(6) 進学について

◇子どもの進学希望も、保護者の進学予想も、所得区分が低いほど「高校まで」または「専門学校まで」が多く、「大学またはそれ以上」が少ない傾向。【図 6-1～2】

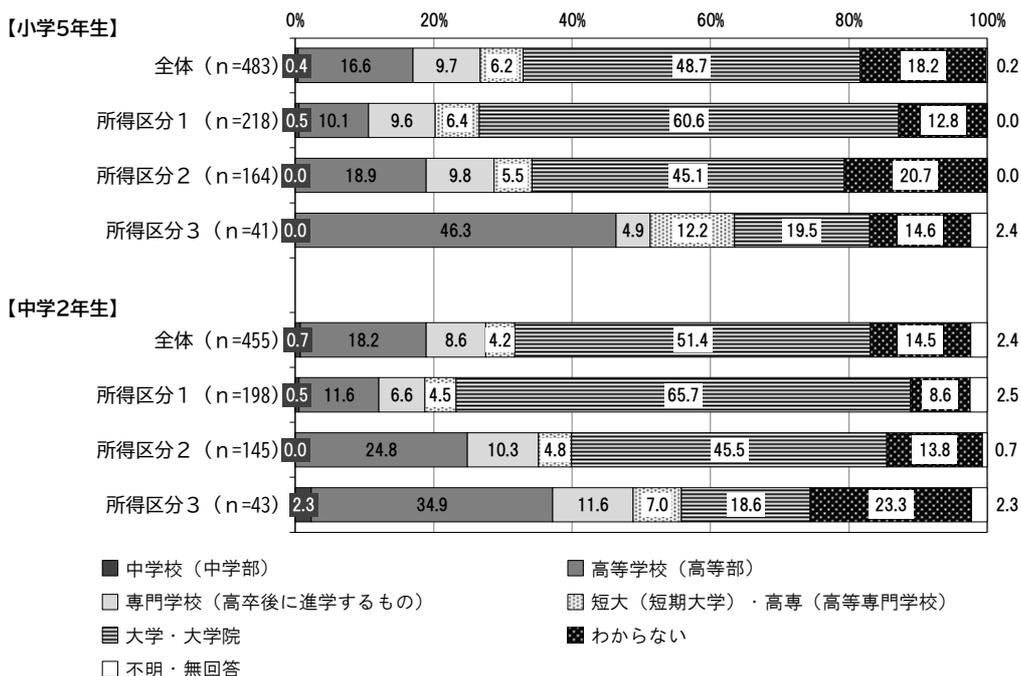
◇子どもの進学希望について、経済的に厳しい世帯の子ども程、自分の希望する学校や職業または成績から考えてというより、保護者や周囲の人がそう言っている、そうしているから、という回答が多く、身近な人間関係が子どもの選択に影響している。【図 6-3】

◇全国調査との比較では、中学2年生の進学希望の理由について、所得区分3で「うちの大人の人」がそう言っているから」「まわりの先輩やともだちがそうしているから」が多い。【図 6-4】

■ 図 6-1：進学希望（子ども）



■ 図 6-2：現実的な進学予想（保護者）



■ 図 6-3：進学希望の理由（子ども）

単位：%

| | | 希望する学校や職業があるから | 自分の成績から考えて | おうちの大人の人がそう言っているから | おにいちゃん・おねえちゃんがそうしているから | まわりの先輩やともだちがそうしているから | 家にお金がないと思うから | 早く働く必要があるから | その他 |
|-------|---------------|----------------|------------|--------------------|------------------------|----------------------|--------------|-------------|-----|
| 小学5年生 | 全体 (n=327) | 55.4 | 14.7 | 19.9 | 4.9 | 2.4 | 4.3 | 2.8 | 6.4 |
| | 所得区分1 (n=159) | 58.5 | 17.6 | 25.2 | 4.4 | 2.5 | 4.4 | 3.1 | 5.0 |
| | 所得区分2 (n=104) | 55.8 | 12.5 | 18.3 | 5.8 | 2.9 | 2.9 | 1.9 | 8.7 |
| | 所得区分3 (n=28) | 39.3 | 10.7 | 10.7 | 7.1 | 3.6 | 10.7 | 3.6 | 7.1 |
| 中学2年生 | 全体 (n=321) | 48.0 | 19.6 | 24.6 | 5.9 | 6.9 | 1.6 | 4.0 | 5.9 |
| | 所得区分1 (n=146) | 53.4 | 22.6 | 24.0 | 5.5 | 8.2 | 0.0 | 2.7 | 4.1 |
| | 所得区分2 (n=102) | 41.2 | 20.6 | 23.5 | 5.9 | 4.9 | 2.9 | 3.9 | 8.8 |
| | 所得区分3 (n=28) | 39.3 | 7.1 | 39.3 | 10.7 | 14.3 | 7.1 | 7.1 | 7.1 |

| | | 特に理由はない | 不明・無回答 |
|-------|---------------|---------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=327) | 17.4 | 1.8 |
| | 所得区分1 (n=159) | 13.2 | 1.9 |
| | 所得区分2 (n=104) | 16.3 | 1.9 |
| | 所得区分3 (n=28) | 32.1 | 0.0 |
| 中学2年生 | 全体 (n=321) | 22.4 | 1.2 |
| | 所得区分1 (n=146) | 17.8 | 2.1 |
| | 所得区分2 (n=102) | 24.5 | 1.0 |
| | 所得区分3 (n=28) | 21.4 | 0.0 |

■ 図 6-4：進学希望の理由の全国調査との比較（中2子ども）

単位：%

| | | 希望する学校や職業があるから | 自分の成績から考えて | おうちの大人の人がそう言っているから | おにいちゃん・おねえちゃんがそうしているから | まわりの先輩やともだちがそうしているから | 家にお金がないと思うから | 早く働く必要があるから | その他 | 特に理由はない |
|------|-------------------|----------------|------------|--------------------|------------------------|----------------------|--------------|-------------|-----|---------|
| 全国 | 中学2年生全体 (n=2,172) | 54.6 | 19.1 | 18.7 | 6.0 | 5.8 | 3.3 | 4.2 | 9.0 | 17.3 |
| | 所得区分1 (n=1,305) | 47.0 | 16.7 | 17.3 | 5.4 | 5.9 | 1.2 | 2.5 | 7.7 | 13.8 |
| | 所得区分2 (n=958) | 42.3 | 14.9 | 13.7 | 3.8 | 3.7 | 2.8 | 3.0 | 6.4 | 13.3 |
| | 所得区分3 (n=333) | 36.0 | 13.8 | 9.9 | 5.1 | 2.4 | 8.1 | 7.8 | 7.8 | 17.1 |
| 藤井寺市 | 中学2年生全体 (n=317) | 48.6 | 19.9 | 24.9 | 6.0 | 6.9 | 1.6 | 4.1 | 6.0 | 22.7 |
| | 所得区分1 (n=143) | 54.5 | 23.1 | 24.5 | 5.6 | 8.4 | 0.0 | 2.8 | 4.2 | 18.2 |
| | 所得区分2 (n=101) | 41.6 | 20.8 | 23.8 | 5.9 | 5.0 | 3.0 | 4.0 | 8.9 | 24.8 |
| | 所得区分3 (n=28) | 39.3 | 7.1 | 39.3 | 10.7 | 14.3 | 7.1 | 7.1 | 7.1 | 21.4 |

※「おうちの大人の人がそう言っているから」「おにいちゃん・おねえちゃんがそうしているから」は全国調査ではそれぞれ「親がそう言っているから」「兄・姉がそうしているから」

※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

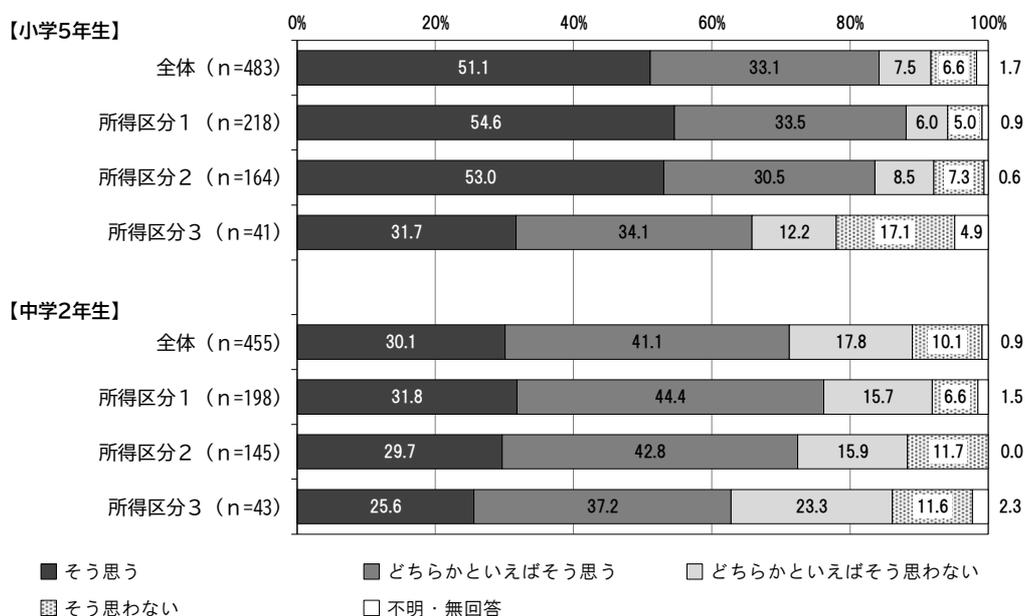
(7) 子どもの内面について

◇特に小学5年生では「自分に自信がある」「自分にはよいところがある」「自分のことが好きだ」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」といった自尊感情に関わる項目で、所得区分が低いほど否定的な回答が多い。【図 7-1~4】

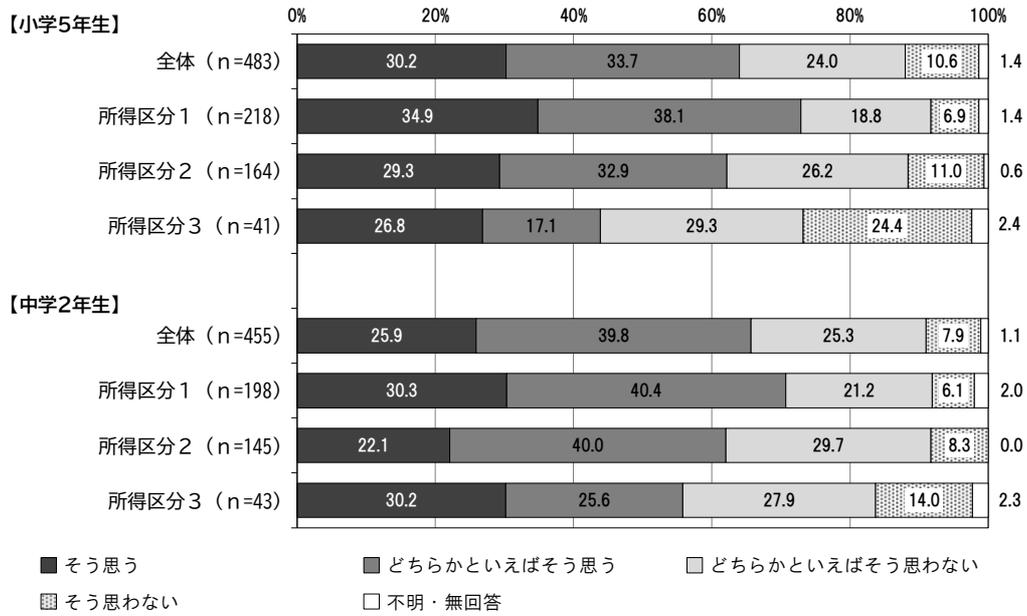
◇中学2年生では、「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」といった将来展望に関わる項目で、所得区分が低いほど「そう思う」がやや少ない傾向がある。【図 7-5~7】

◇いやなことや悩んでいることの相談相手について、経済的に厳しい世帯の子どもは「学校のともだち」という回答がやや少なく、「自分は友だちから好かれている」「ともだちと会うのは楽しい」についても否定的な回答がやや多くなっており、友人関係においても孤立しやすい状況に置かれている可能性がある。【図 7-8~10】

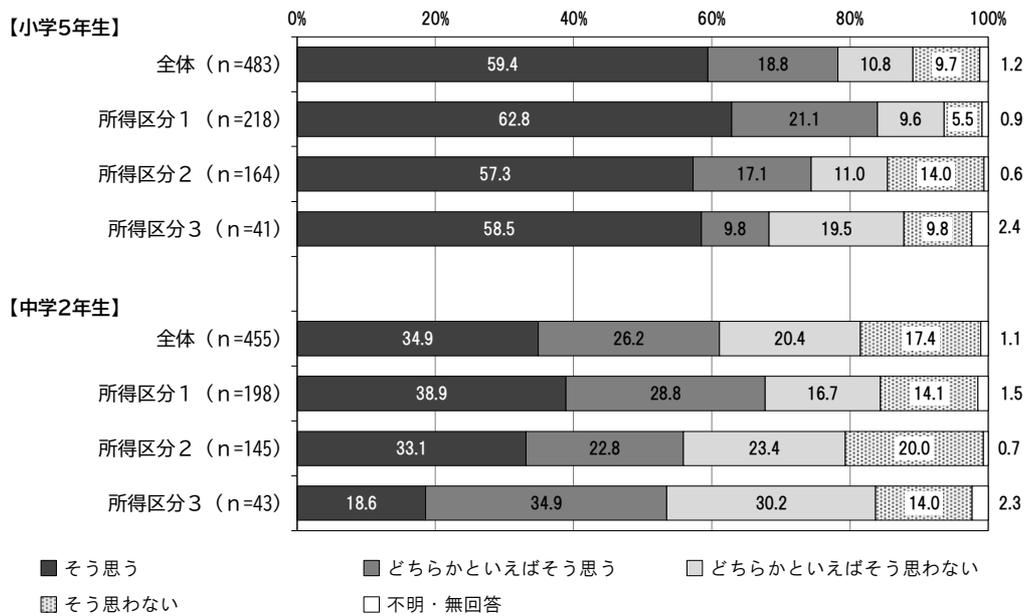
■ 図 7-1：自分には良いところがある（子ども）



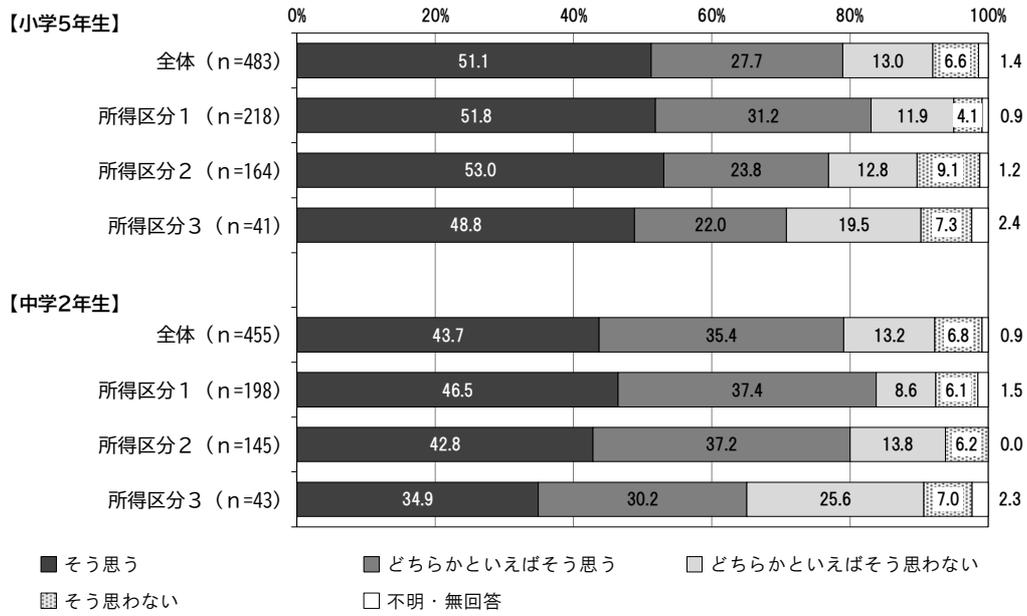
■ 図 7-4：自分の考えをはっきり相手に伝えることができる（子ども）



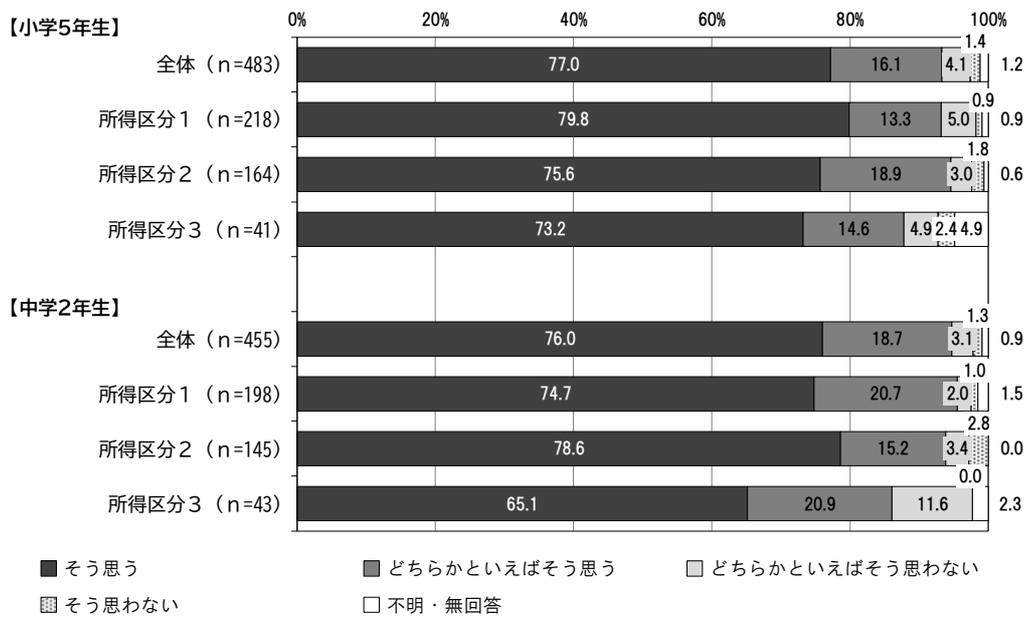
■ 図 7-5：自分の将来の夢や目標を持っている（子ども）



■ 図 7-6：将来のためにも、今、頑張りたいと思う（子ども）



■ 図 7-7：将来、働きたいと思う（子ども）

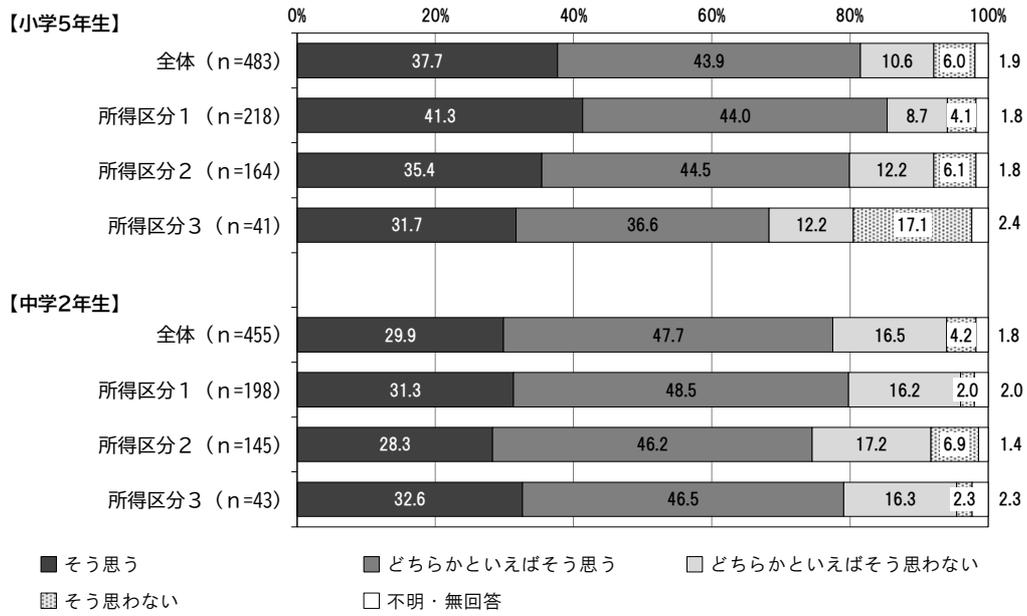


■ 図 7-8：いやなことや悩んでいることがあるとき誰に相談するか（子ども）

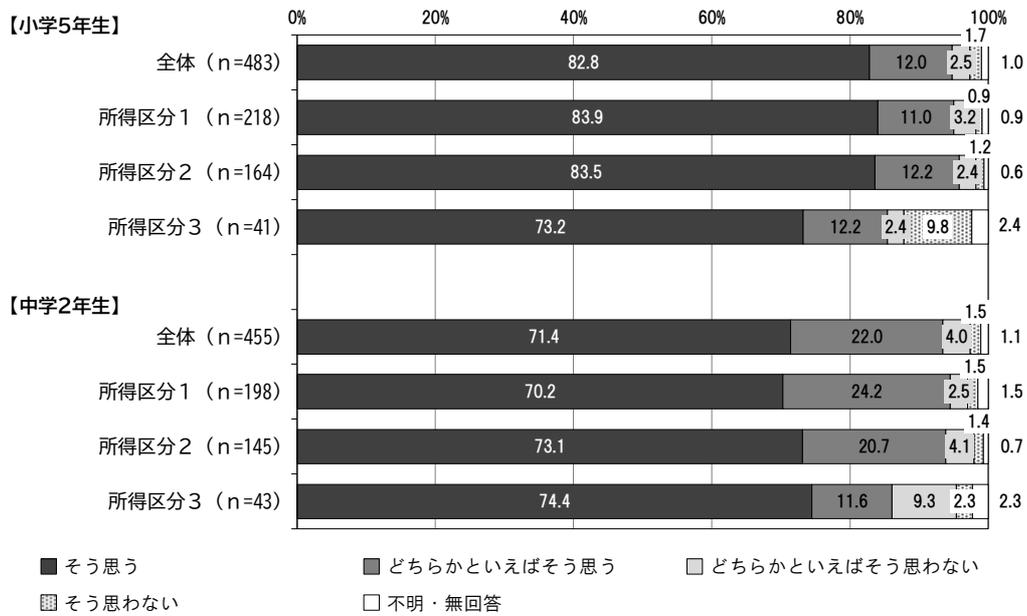
単位：%

| | | お母さん・お父さん | きょうだい | おじいちゃん・おばあちゃん | おじさん・おばさん | いとこ | 学校のともだち | 塾や習いごとのともだち | その他のともだち | 担任の先生や他のクラスの先生 |
|-------|---------------|-----------|------------|---------------|-----------|----------------------|------------|-----------------------------------|----------|--|
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 72.3 | 20.9 | 17.6 | 3.3 | 5.6 | 54.5 | 8.9 | 4.1 | 36.6 |
| | 所得区分1 (n=218) | 72.9 | 22.5 | 18.3 | 5.0 | 7.3 | 58.3 | 11.9 | 5.0 | 40.8 |
| | 所得区分2 (n=164) | 72.0 | 20.1 | 14.6 | 1.8 | 5.5 | 56.7 | 4.9 | 3.7 | 35.4 |
| | 所得区分3 (n=41) | 75.6 | 4.9 | 22.0 | 0.0 | 2.4 | 39.0 | 4.9 | 2.4 | 29.3 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 52.1 | 17.6 | 8.8 | 1.5 | 3.5 | 55.4 | 5.3 | 7.3 | 22.0 |
| | 所得区分1 (n=198) | 59.1 | 17.7 | 10.1 | 1.0 | 4.0 | 56.6 | 7.1 | 8.6 | 22.7 |
| | 所得区分2 (n=145) | 48.3 | 16.6 | 8.3 | 1.4 | 1.4 | 56.6 | 4.1 | 6.2 | 17.2 |
| | 所得区分3 (n=43) | 44.2 | 18.6 | 4.7 | 2.3 | 11.6 | 46.5 | 2.3 | 4.7 | 39.5 |
| | | 保健室の先生 | クラブ活動の先生 | スクールカウンセラー | 塾や習いごとの先生 | 放課後児童会など学童保育の先生(指導員) | 子ども専用の電話相談 | インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人 | 近所の人 | 地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人) |
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 3.9 | 0.4 | 2.5 | 3.9 | 1.0 | 0.8 | 0.2 | 2.1 | 0.0 |
| | 所得区分1 (n=218) | 5.5 | 0.5 | 3.2 | 3.7 | 0.9 | 0.5 | 0.0 | 2.3 | 0.0 |
| | 所得区分2 (n=164) | 1.2 | 0.0 | 0.6 | 3.7 | 1.2 | 1.2 | 0.0 | 1.2 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=41) | 7.3 | 0.0 | 2.4 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 0.0 |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 1.5 | 3.7 | 2.9 | 3.1 | 0.2 | 0.0 | 2.9 | 0.2 | 0.0 |
| | 所得区分1 (n=198) | 1.5 | 2.0 | 2.5 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 0.5 | 0.0 |
| | 所得区分2 (n=145) | 1.4 | 4.1 | 2.8 | 2.8 | 0.7 | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=43) | 0.0 | 9.3 | 2.3 | 4.7 | 0.0 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 0.0 |
| | | その他の人 | だれにも相談できない | だれにも相談したくない | わからない | 不明・無回答 | | | | |
| 小学5年生 | 全体 (n=483) | 0.8 | 2.3 | 5.4 | 4.8 | 3.3 | | | | |
| | 所得区分1 (n=218) | 0.5 | 1.4 | 5.0 | 5.5 | 4.1 | | | | |
| | 所得区分2 (n=164) | 0.6 | 2.4 | 5.5 | 2.4 | 1.8 | | | | |
| | 所得区分3 (n=41) | 4.9 | 4.9 | 12.2 | 7.3 | 0.0 | | | | |
| 中学2年生 | 全体 (n=455) | 0.9 | 4.8 | 9.0 | 13.2 | 1.1 | | | | |
| | 所得区分1 (n=198) | 0.5 | 4.0 | 6.6 | 11.6 | 1.5 | | | | |
| | 所得区分2 (n=145) | 2.1 | 5.5 | 9.7 | 15.2 | 0.0 | | | | |
| | 所得区分3 (n=43) | 0.0 | 9.3 | 9.3 | 11.6 | 2.3 | | | | |

■ 図 7-9：自分はともだちから好かれている（子ども）



■ 図 7-10：ともだちと会うのは楽しい（子ども）



(8) ヤングケアラーについて

◇いずれの学年も1割前後が、家の手伝いなどのために、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならないと感じる内容を回答している。【図8-1】

◇手伝いや仕事の頻度については、「ほとんど毎日」が最も多く、家庭の経済状況による差はあまり見られない。【図8-2】

■図8-1：家の手伝いなどのために、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならないと感じる内容（子ども）

単位：%

| | | お年寄りや障害のある家族・親せきの介護や介助（着替え・食事・お風呂・外出の手助けなど） | 小さいきょうだいの身の回りのお世話（着替え・おむつ交換）・食事・お風呂のお世話、一緒に留守番など） | 買い物、食事の準備と片付け、掃除、洗濯などの家事 | 日本語が十分に話せない家族の通訳 | 家族の仕事の手伝い（家で仕事を家族の手伝いや、家でしているお店の手伝いなど） | その他のお世話や仕事 | それほど大変な手伝いや仕事はしていない | 不明・無回答 |
|-------|--------------|---|---|--------------------------|------------------|--|------------|---------------------|--------|
| 小学5年生 | 全体（n=483） | 0.0 | 3.7 | 6.6 | 0.2 | 4.8 | 1.7 | 79.1 | 7.5 |
| | 所得区分1（n=218） | 0.0 | 4.6 | 7.8 | 0.5 | 4.1 | 1.8 | 80.3 | 6.4 |
| | 所得区分2（n=164） | 0.0 | 3.0 | 6.1 | 0.0 | 3.0 | 1.8 | 81.7 | 6.1 |
| | 所得区分3（n=41） | 0.0 | 4.9 | 4.9 | 0.0 | 7.3 | 2.4 | 58.5 | 22.0 |
| 中学2年生 | 全体（n=455） | 0.4 | 2.6 | 6.6 | 0.0 | 2.4 | 0.4 | 82.2 | 7.9 |
| | 所得区分1（n=198） | 0.0 | 3.0 | 3.5 | 0.0 | 1.0 | 0.5 | 85.9 | 7.1 |
| | 所得区分2（n=145） | 0.7 | 2.8 | 9.7 | 0.0 | 4.1 | 0.7 | 77.9 | 9.0 |
| | 所得区分3（n=43） | 2.3 | 4.7 | 11.6 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 76.7 | 9.3 |

■図8-2：手伝いや仕事を合計でどのくらいやっているか（子ども）

単位：%

| | | ほとんど毎日 | 週に4～5回 | 週に2～3回 | 週に1回程度 | 月に1～2回 | 月に1回より少ない | 不明・無回答 |
|-------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|--------|
| 小学5年生 | 全体（n=65） | 35.4 | 7.7 | 20.0 | 15.4 | 7.7 | 3.1 | 10.8 |
| | 所得区分1（n=29） | 20.7 | 3.4 | 31.0 | 17.2 | 17.2 | 6.9 | 3.4 |
| | 所得区分2（n=20） | 55.0 | 5.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 |
| | 所得区分3（n=8） | 37.5 | 12.5 | 12.5 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 |
| 中学2年生 | 全体（n=45） | 55.6 | 11.1 | 17.8 | 6.7 | 4.4 | 2.2 | 2.2 |
| | 所得区分1（n=14） | 71.4 | 7.1 | 7.1 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分2（n=19） | 52.6 | 10.5 | 26.3 | 0.0 | 0.0 | 5.3 | 5.3 |
| | 所得区分3（n=6） | 16.7 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |

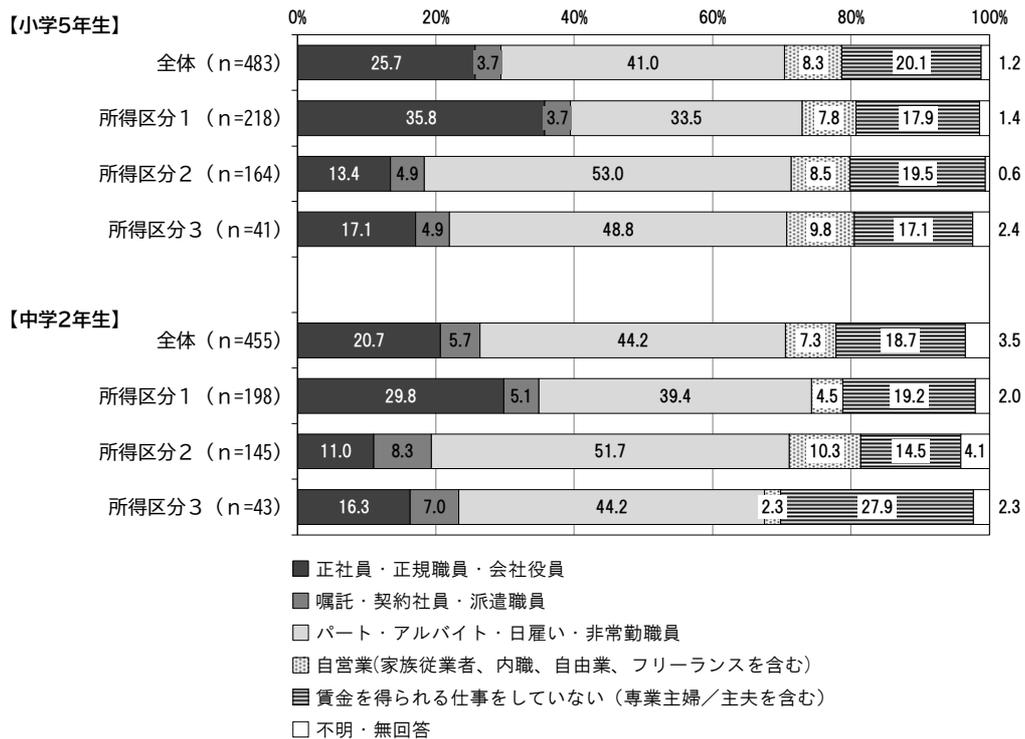
(9) 保護者の就労について

◇母親の就労状況では、「正社員・正規職員・会社役員」は所得区分1で多く、中学2年生の所得区分3では「賃金を得られる仕事をしていない」がやや多い。【図9-1】

◇母親の賃金を得られる仕事をしていない主な理由については、所得区分が低いほど「子育てを優先したいため」が少なく、中学2年生の所得区分3では「自分の病気や障害のため」が最も多い。【図9-2】

◇経済的に厳しい世帯では、平日日中以外の勤務を行っていることが多く子どものケアの不足につながっていることがうかがえる。【図9-3】

■ 図9-1：母親の就労状況（保護者）



■ 図9-2：母親の賃金を得られる仕事をしていない理由（保護者）

単位：%

| 学年 | 所得区分 | 現在求職中または希望する仕事がないため | 子育てを優先したため | 家族の介護・介助のため | 自分の病気や障害のため | 通学しているため | その他の理由 | 不明・無回答 |
|-------|--------------|---------------------|------------|-------------|-------------|----------|--------|--------|
| 小学5年生 | 全体 (n=97) | 11.3 | 66.0 | 5.2 | 5.2 | 0.0 | 8.2 | 4.1 |
| | 所得区分1 (n=39) | 15.4 | 74.4 | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 2.6 | 5.1 |
| | 所得区分2 (n=32) | 9.4 | 59.4 | 6.3 | 6.3 | 0.0 | 15.6 | 3.1 |
| | 所得区分3 (n=7) | 14.3 | 42.9 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 中学2年生 | 全体 (n=85) | 18.8 | 50.6 | 7.1 | 8.2 | 0.0 | 9.4 | 5.9 |
| | 所得区分1 (n=38) | 10.5 | 60.5 | 7.9 | 2.6 | 0.0 | 13.2 | 5.3 |
| | 所得区分2 (n=21) | 19.0 | 47.6 | 9.5 | 4.8 | 0.0 | 9.5 | 9.5 |
| | 所得区分3 (n=12) | 33.3 | 8.3 | 8.3 | 41.7 | 0.0 | 0.0 | 8.3 |

■ 図 9-3：賃金を得られる仕事をしている母親の平日日中以外の勤務の有無（保護者）

単位：%

| | | 早朝（5～8時） | 18～20時の勤務 | 20～22時の勤務 | 深夜勤務（22時～5時） | 土曜出勤 | 日曜・祝日出勤 | 平日の日中以外の勤務はない | 不明・無回答 |
|-------|--------------|----------|-----------|-----------|--------------|------|---------|---------------|--------|
| 小学5年生 | 全体（n=380） | 6.1 | 17.4 | 6.6 | 4.7 | 40.5 | 18.2 | 47.1 | 5.0 |
| | 所得区分1（n=176） | 8.0 | 18.8 | 7.4 | 4.5 | 39.8 | 19.3 | 47.2 | 4.0 |
| | 所得区分2（n=131） | 3.8 | 16.0 | 3.8 | 2.3 | 36.6 | 15.3 | 55.0 | 3.8 |
| | 所得区分3（n=33） | 6.1 | 24.2 | 12.1 | 15.2 | 54.5 | 30.3 | 21.2 | 12.1 |
| 中学2年生 | 全体（n=354） | 7.6 | 20.9 | 8.8 | 5.1 | 37.6 | 18.6 | 49.4 | 4.5 |
| | 所得区分1（n=156） | 6.4 | 26.3 | 9.0 | 3.8 | 30.1 | 12.2 | 50.0 | 4.5 |
| | 所得区分2（n=118） | 5.9 | 12.7 | 5.9 | 3.4 | 39.0 | 22.0 | 54.2 | 4.2 |
| | 所得区分3（n=30） | 16.7 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 56.7 | 30.0 | 33.3 | 6.7 |

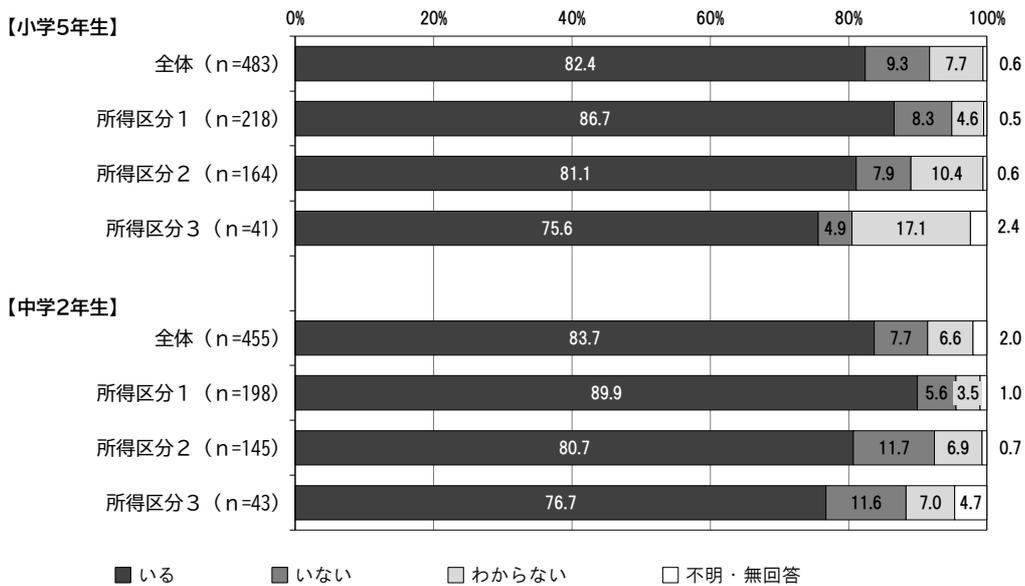
(10) 保護者の孤立について

◇経済的に厳しい世帯では、保護者を支えたり手伝ってくれる人や、相談ごとで頼れる人が「いる」と回答する割合がやや低く、保護者が孤立しがちな傾向があることがうかがえる。【図 10-1~4】。

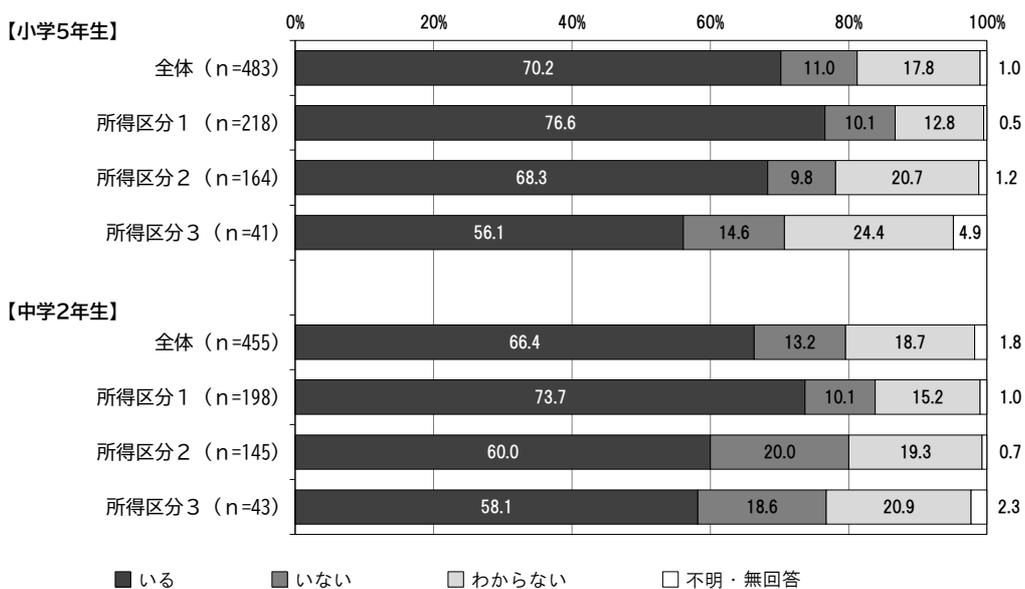
◇頼りにできる相手については、家族・親族や友人・知人が多く、公的な機関等の回答は少ない。【図 10-5】

◆団体・支援者調査では、さまざまな場面で保護者の悩みを聞く中で、問題の把握や支援につながる事例が複数報告されており、信頼関係の構築の重要性の一方で、保護者自身が支援を必要としなかったり拒んだりするといった支援につなぐことの難しさが指摘された。【図 10-6】

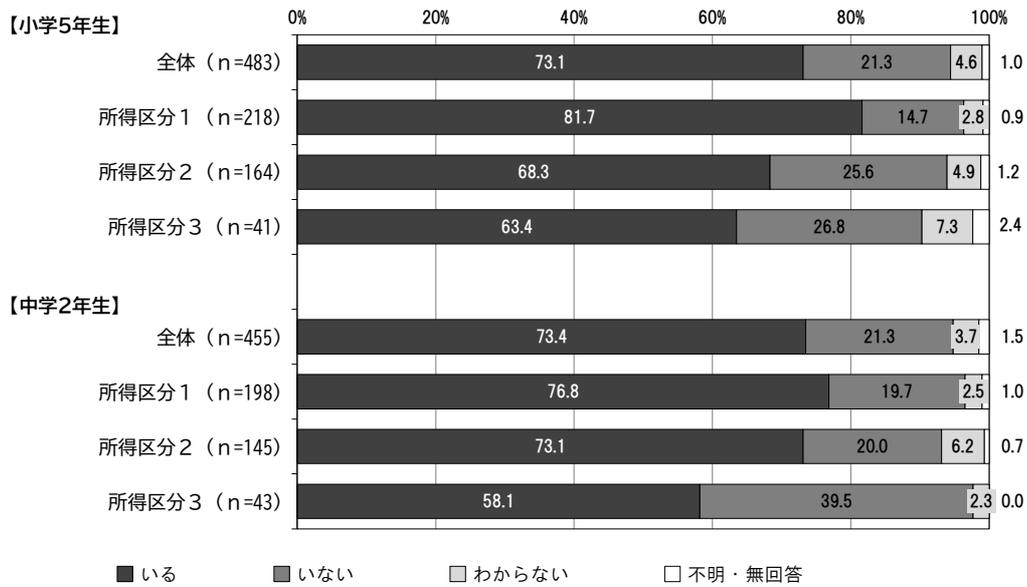
■ 図 10-1：趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人（保護者）



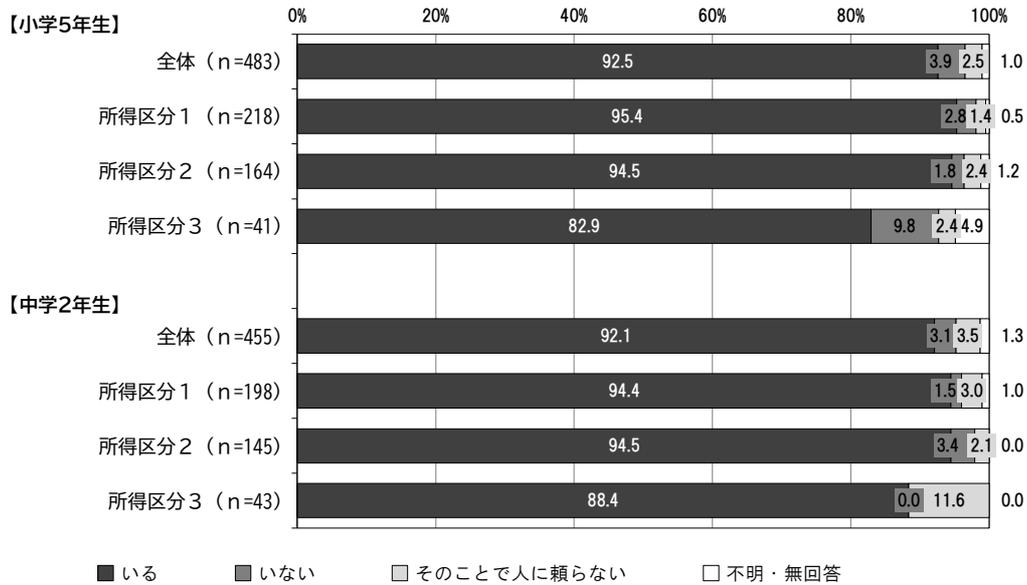
■ 図 10-2：子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）（保護者）



■ 図 10-3：子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人（保護者）



■ 図 10-4：重要な事柄の相談で頼れる人（保護者）



■ 図 10-5：重要な事柄の相談で頼れる人はだれか

単位：%

| | | 家族・親族 | 友人・知人 | 近所の人 | 職場の人 | 学校・保育施設などの先生 | 相談・支援機関や福祉の人 | 民生委員児童委員・主任児童委員 | その他 | 不明・無回答 |
|-------|---------------|-------|------------|------|------|--------------|--------------|-----------------|-----|--------|
| | | 小学5年生 | 全体 (n=447) | 95.5 | 40.5 | 1.8 | 9.6 | 4.7 | 1.6 | 0.0 |
| | 所得区分1 (n=208) | 96.6 | 43.8 | 2.4 | 12.0 | 7.7 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分2 (n=155) | 95.5 | 37.4 | 1.3 | 9.0 | 3.2 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.6 |
| | 所得区分3 (n=34) | 91.2 | 47.1 | 0.0 | 8.8 | 0.0 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 中学2年生 | 全体 (n=419) | 93.3 | 39.9 | 2.1 | 8.4 | 3.8 | 1.2 | 0.0 | 0.5 | 0.2 |
| | 所得区分1 (n=187) | 94.7 | 42.2 | 3.7 | 7.5 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.5 |
| | 所得区分2 (n=137) | 94.2 | 37.2 | 0.7 | 7.3 | 3.6 | 1.5 | 0.0 | 0.7 | 0.0 |
| | 所得区分3 (n=38) | 84.2 | 31.6 | 2.6 | 15.8 | 7.9 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

■図 10-6：団体・支援者調査における問題の把握や支援につながった事例や支援の課題

| | |
|------|--|
| SSW | 保護者との継続した援助関係を結ぶこと。複数回の面接を通して、保護者に制度やサービスに関する情報提供をしながら、信頼関係が築けたうえで、役所等への同行支援を行ったこと。 |
| 学校 | 児童・保護者の悩み・相談に対してのハードルを下げ、どんな相談に対しても何かしらの動きを見せる（関係諸機関との連携含む）ことが大切と考える。子育て支援課や子ども家庭センターなどと学校とが連動したケースでは、致命的な家庭の崩壊を回避できている。 |
| 保育施設 | 園を訪問してもらい、保護者と面談してもらったことにより、先の支援機関につながる事ができた。 |
| 学校 | 保護者が関係機関に入られることを嫌がる。早急に動いて欲しいが、関係機関の動きがあまり早くしてもらえない。関係機関へ情報提供しても、学校から聞かないと関係機関からの情報提供がないことがある。関係機関の担当者が忙しく、直接連絡がとれないことがある。 |
| 相談支援 | こちらが聞き取りをしている状況では、かなり困窮しているように見受けられるケースでも、本人自身はあまり危機感を持っていないケースが多い。 |
| 保健師 | こちらがサポート必要と思っても、相手が必要を感じていない場合、電話が繋がらない。訪問しても不在という状態が続き、支援につなげることが難しい。 |
| 学校 | 小中学校の場合は子供の貧困は親の問題でもある。親が行政を信頼してくれるようにならないと、支援は届けられない。親の反貧困教育も重要だと思う。 |

(11) 子どもの医療について

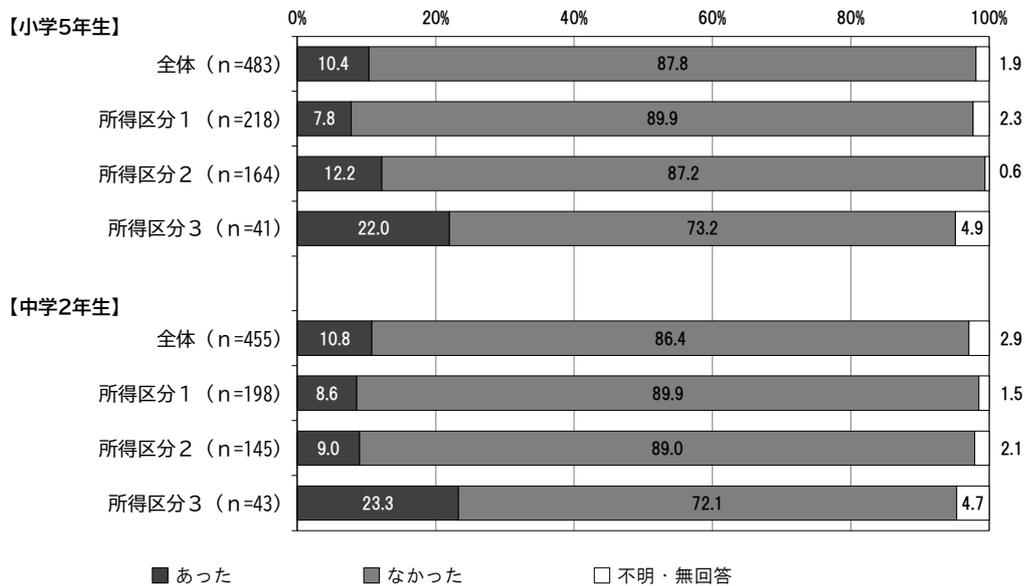
◇経済的に厳しい世帯では、子どもを医療機関に受診させた方がよいと思ったのに受診しなかった経験を有する保護者が多い。【図 11-1】

◇受診させなかった理由については、「感染症の影響」「時間がなかった」という回答が多く、「医療費の支払いが不安であった」は少ない。【図 11-2】

◇経済的に厳しい世帯では、子どもに治療していない虫歯があると回答する保護者の割合が高い。【図 11-3】

◇保護者については、精神的に厳しい状況にあるほど、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことや、医療機関で子どもを受診させなかったことの割合が高くなっており、こうした保護者の精神的な状況も子どもの生活や養育に影響を与えていることがうかがえる。【図 11-4】

■ 図 11-1：過去1年の間に、子どもを受診させたほうがよいと思ったのに、受診しなかったこと（保護者）

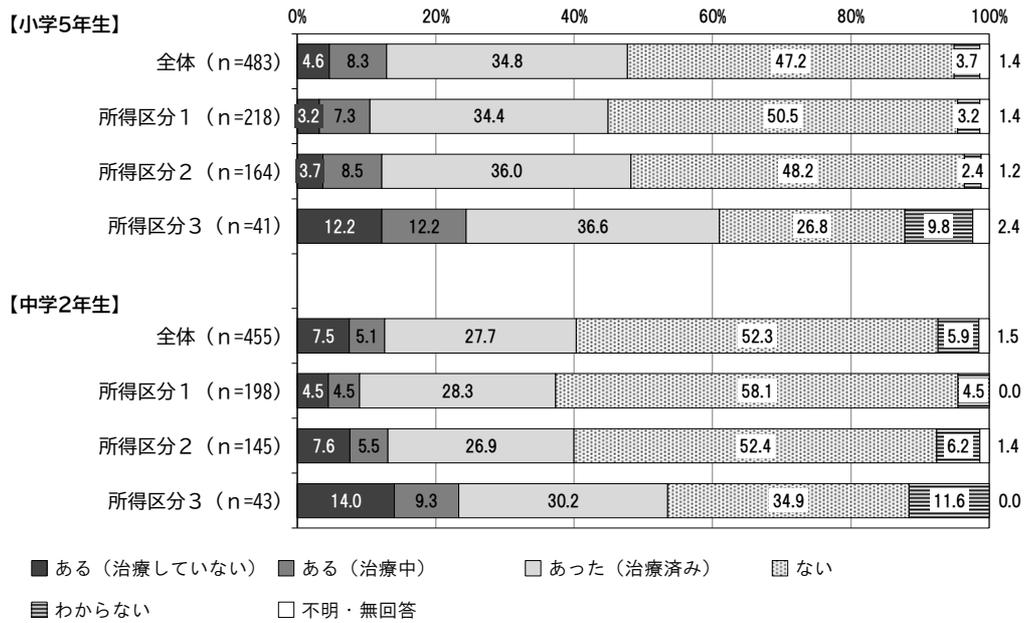


■ 図 11-2：病院や診療所などの医療機関を受診しなかった理由（保護者）

単位：%

| 学年 | 区分 | 人数 | 医療機関に連れて行く時間がなかったから | 医療機関までの距離が遠く、連れて行けなかったから | 子ども本人が受診したがらなかったから | 医療費の支払いが不安であったから | 自分の健康状態が悪かったから | 新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や医療機関への受診を控えたから | その他 | 不明・無回答 |
|-------|-------|----|---------------------|--------------------------|--------------------|------------------|----------------|------------------------------------|------|--------|
| | | | | | | | | | | |
| 小学5年生 | 全体 | 50 | 40.0 | 10.0 | 22.0 | 8.0 | 6.0 | 52.0 | 8.0 | 8.0 |
| | 所得区分1 | 17 | 41.2 | 0.0 | 17.6 | 5.9 | 0.0 | 35.3 | 11.8 | 11.8 |
| | 所得区分2 | 20 | 40.0 | 5.0 | 20.0 | 15.0 | 10.0 | 70.0 | 5.0 | 5.0 |
| | 所得区分3 | 9 | 44.4 | 44.4 | 33.3 | 0.0 | 11.1 | 44.4 | 0.0 | 11.1 |
| 中学2年生 | 全体 | 49 | 32.7 | 8.2 | 30.6 | 12.2 | 6.1 | 42.9 | 8.2 | 0.0 |
| | 所得区分1 | 17 | 41.2 | 5.9 | 23.5 | 0.0 | 0.0 | 47.1 | 5.9 | 0.0 |
| | 所得区分2 | 13 | 15.4 | 7.7 | 53.8 | 23.1 | 7.7 | 53.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 所得区分3 | 10 | 20.0 | 0.0 | 30.0 | 20.0 | 20.0 | 40.0 | 10.0 | 0.0 |

■ 図 11-3：子どものむし歯の有無（保護者）



■ 図 11-4：保護者の精神的健康状態と子どもとの関わり

単位：%

| | 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと | | | | | | 受診したほうがよいと思ったのにしなかったこと | | | |
|-------|---------------------------|------|--------|--------|------|-------|------------------------|-----|------|------|
| | n | よくある | ときどきある | ほとんどない | ない | わからない | n | あった | なかった | |
| 所得区分1 | K6得点4点以下 | 272 | 1.8 | 16.9 | 80.1 | 0.7 | 0.4 | 270 | 5.9 | 94.1 |
| | K6得点5～9点 | 83 | 9.6 | 45.8 | 41.0 | 2.4 | 1.2 | 81 | 11.1 | 88.9 |
| | K6得点10～12点 | 32 | 28.1 | 43.8 | 28.1 | 0.0 | 0.0 | 32 | 15.6 | 84.4 |
| | K6得点13点以上 | 22 | 27.3 | 54.5 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 22 | 18.2 | 81.8 |
| 所得区分2 | K6得点4点以下 | 178 | 0.6 | 22.5 | 72.5 | 1.7 | 2.8 | 177 | 5.1 | 94.9 |
| | K6得点5～9点 | 63 | 15.9 | 52.4 | 30.2 | 1.6 | 0.0 | 63 | 12.7 | 87.3 |
| | K6得点10～12点 | 33 | 30.3 | 51.5 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 33 | 24.2 | 75.8 |
| | K6得点13点以上 | 29 | 62.1 | 27.6 | 10.3 | 0.0 | 0.0 | 29 | 24.1 | 75.9 |
| 所得区分3 | K6得点4点以下 | 31 | 9.7 | 25.8 | 64.5 | 0.0 | 0.0 | 29 | 6.9 | 93.1 |
| | K6得点5～9点 | 16 | 6.3 | 43.8 | 43.8 | 6.3 | 0.0 | 16 | 18.8 | 81.3 |
| | K6得点10～12点 | 11 | 18.2 | 36.4 | 45.5 | 0.0 | 0.0 | 11 | 36.4 | 63.6 |
| | K6得点13点以上 | 22 | 40.9 | 45.5 | 13.6 | 0.0 | 0.0 | 21 | 42.9 | 57.1 |

※ K6得点は、うつ病・不安障害等の精神疾患のスクリーニングを目的として、開発された尺度。保護者調査に含まれる「神経過敏に感じた」「絶望的だと感じた」等の6つの項目について、「全くない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点)で点数化し、合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとされる。

(12) 支援制度の利用と認知について

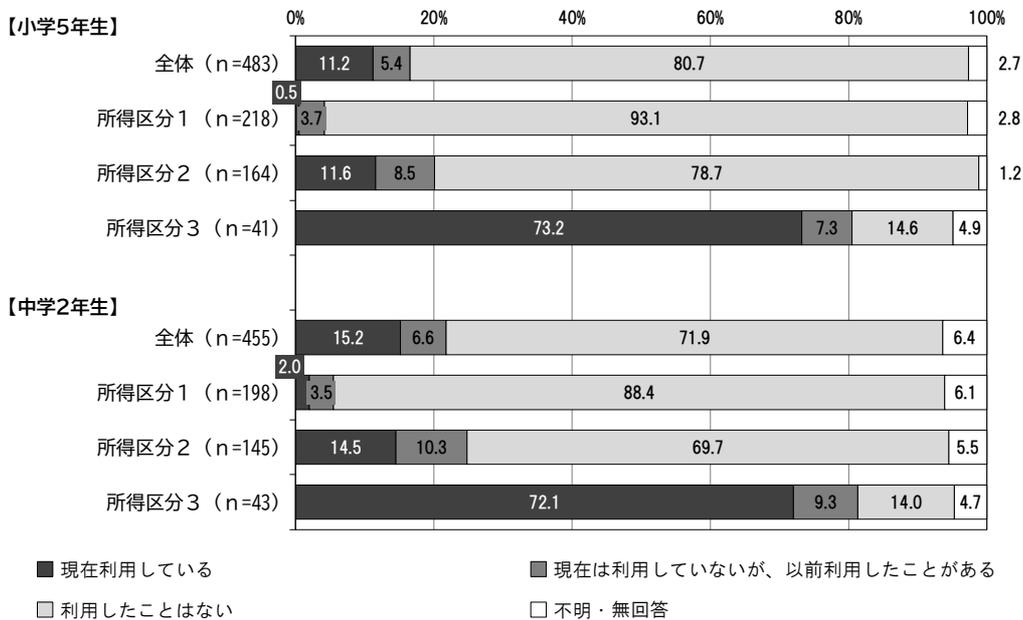
◇就学援助については、所得区分3の7割以上が現在利用していると回答しており、全国調査との比較においても利用率は高くなっている。本来対象となっている世帯の多くに支援が届いている状況だと考えられる。【図 12-1、12-3】

◇就学援助を利用していない理由として、小学5年生の経済的に厳しい世帯においては「手続きがわからなかったり、利用しにくいから」という回答がやや多くなっている。【図 12-2】

◇ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て支援拠点事業、子ども食堂・地域食堂などについては、経済的に厳しい世帯ほど「知らない」という回答が多くなっており、様々な子育て支援についての情報が、それを必要としている世帯ほど伝わっていない状況にある。【図 12-4～6】

◆団体・支援者調査において、支援のための手続きの問題や、確実に支援につなげる上では、関係機関の連携体制が必要であると指摘されている。【図 12-7】

■ 図 12-1：就学援助の利用状況（保護者）

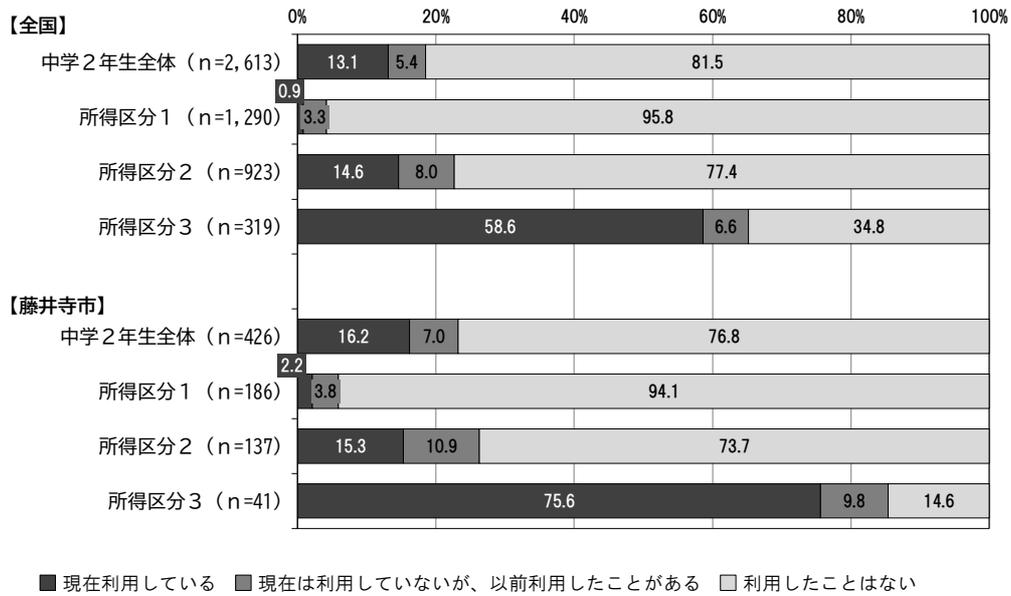


■ 図 12-2：就学援助を利用したことがない理由（保護者）

単位：%

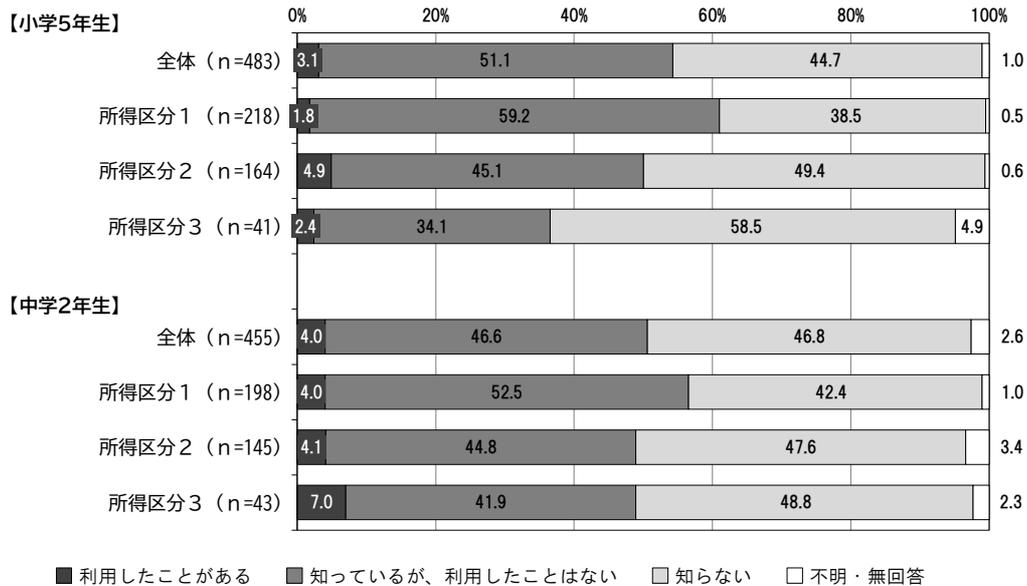
| 学年 | 所得区分 | 利用条件を満たさな いと思うから | 利用した いと思わ なかった から | 手続きが 分からな かったり、 利用し にくい から | 今までこの 支援制 度を知ら なかつた から | その他 | 不明・無 回答 |
|---------------|---------------|---------------------|----------------------------|---|------------------------------------|-----|------------|
| 小学 5 年生 | 全体 (n=390) | 78.2 | 8.7 | 2.1 | 2.3 | 0.3 | 8.5 |
| | 所得区分1 (n=203) | 84.7 | 5.9 | 0.5 | 2.0 | 0.0 | 6.9 |
| | 所得区分2 (n=129) | 72.1 | 9.3 | 2.3 | 2.3 | 0.8 | 13.2 |
| | 所得区分3 (n=6) | 33.3 | 16.7 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 中学 2 年生 | 全体 (n=327) | 76.1 | 7.0 | 1.8 | 2.1 | 0.6 | 12.2 |
| | 所得区分1 (n=175) | 78.3 | 6.3 | 0.0 | 1.7 | 0.6 | 13.1 |
| | 所得区分2 (n=101) | 77.2 | 8.9 | 1.0 | 2.0 | 0.0 | 10.9 |
| | 所得区分3 (n=6) | 66.7 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |

■ 図 12-3：就学援助の利用状況の全国調査との比較（中2保護者）

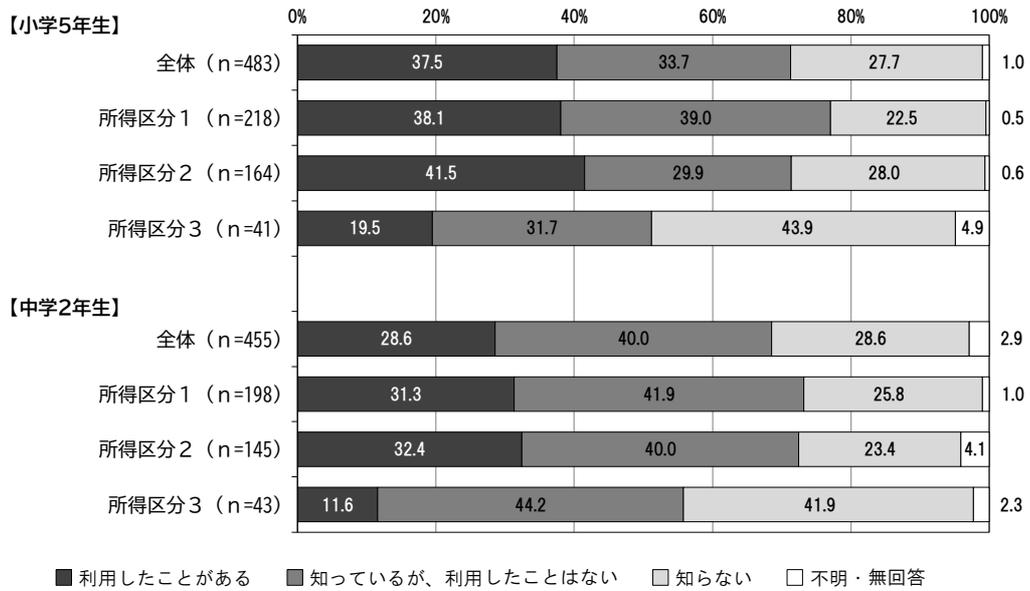


※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

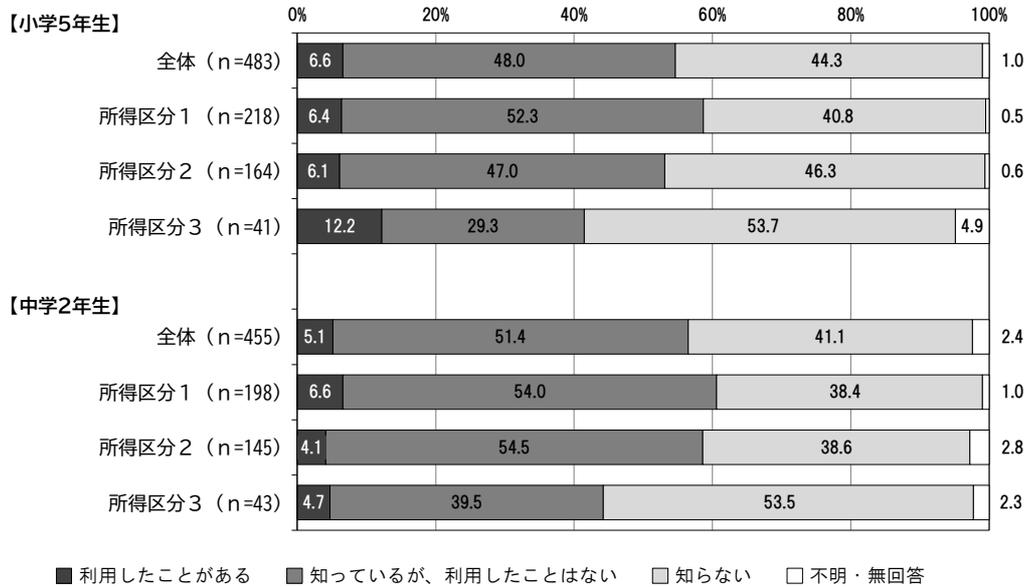
■ 図 12-4：ファミリー・サポート・センター事業の利用と認知について（保護者）



■ 図 12-5：地域子育て支援拠点事業の利用と認知について（保護者）



■ 図 12-6：子ども食堂・地域食堂などの利用と認知について（保護者）



■ 図 12-7：団体・支援者調査における支援に必要なことや関係機関の連携体制について

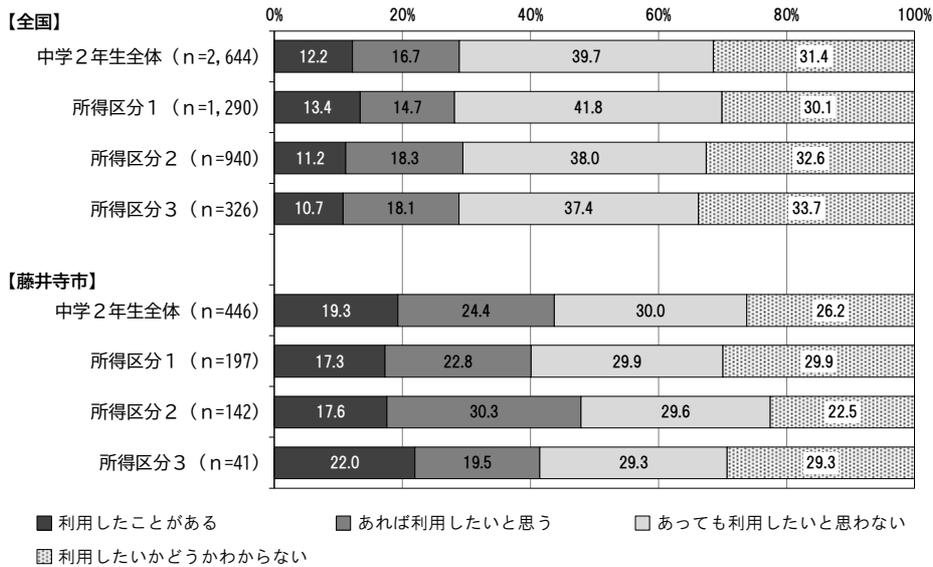
| | |
|-----|--|
| 学校 | 経済的に厳しい状況にある家庭に安定した経済的支援が必要であり、その事務手続きの簡略化および様々な方法を用いての周知が必要である。 |
| 保健師 | わかりやすい情報をわかりやすく発信、周知することかと思います。 |
| 学校 | 学校単独では、家庭の課題（金銭的なものを含めて）に対して、一定程度は関わったとしても、本質的な部分にまで踏み込むことは躊躇される。実際に、関係諸機関との連携の中で、深刻な状態になってから協働し始めるケースが多く、予防という観点からも、学校と関係諸機関との信頼関係をベースにした密接な協働体制作りが必須である。 |
| 学校 | 児童・保護者の悩み・課題に対して、子育て支援課と学校が協働して、長期的なスパンで家庭を支えていく体制作り。（関係諸機関同士の仕事内容を知る機会の提供・合同ケース会議の開催・課題の早期発見及び即応体制作りなど） |
| 保健師 | 経済的な支援があればいいのではなく、問題は複雑。家族関係の問題も含めて解決が困難な場合も多い。多機関での協力、情報共有、見守りが必要。 |

(13) 支援のニーズについて

◇「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」や「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」について、全国調査との比較で「利用したことがある」「あれば利用したいと思う」が多い。【図 13-1～2】

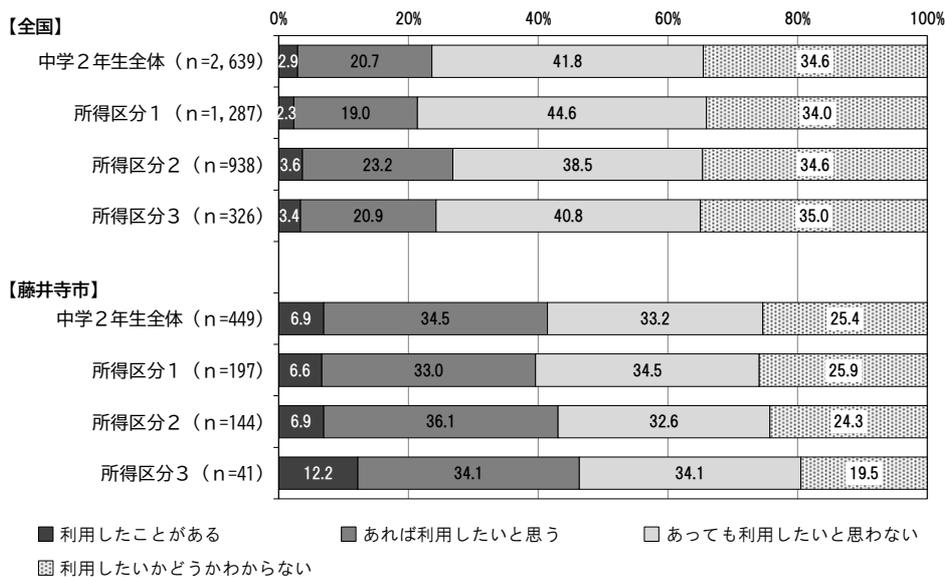
◇経済的に厳しい世帯ほど「安い家賃で住める住居」「生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など）」「読み書き計算などの基本的な学習への支援」といったより基礎的なニーズが高く、所得の高い世帯ほど「自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供」「会社などでの職場体験等の機会の提供」といった家庭だけでは提供できない体験等のニーズが高い。【図 13-3】

■ 図 13-1：平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用経験・希望の全国調査との比較（中2子ども）



※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

■ 図 13-2：夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）利用経験・希望の全国調査との比較（中2子ども）



※全国調査は中学2年生のみのため、中学2年生の無回答を除いたデータを比較。所得区分は全国調査の区分線を適用しているため、他のグラフと区分別の件数が異なる。

■ 図 13-3：現在または将来的に、どのような子育て支援があるとよいと思うか（保護者）

単位：％

| | | 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供 | 安い家賃で住める住居 | 生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など） | 進路や生活などについてなんでも相談できる場所 | 自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供 | 地域における子どもの居場所の提供（子ども食堂、地域食堂なども含む） | 読み書き計算などの基本的な学習への支援 | 進学や資格取得のための発展的な学習の支援 | 会社などでの職場体験などの機会の提供 |
|-------|--------------|------------------------------|-----------------|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------------------|---------------------|----------------------|--------------------|
| 小学5年生 | 全体（n=483） | 45.3 | 27.3 | 48.0 | 31.9 | 50.1 | 38.7 | 32.3 | 48.4 | 36.6 |
| | 所得区分1（n=218） | 50.9 | 16.5 | 37.6 | 32.1 | 57.3 | 43.6 | 33.9 | 46.8 | 41.3 |
| | 所得区分2（n=164） | 37.8 | 29.9 | 54.9 | 29.9 | 44.5 | 32.3 | 26.8 | 49.4 | 31.1 |
| | 所得区分3（n=41） | 46.3 | 61.0 | 78.0 | 39.0 | 39.0 | 46.3 | 43.9 | 56.1 | 34.1 |
| 中学2年生 | 全体（n=455） | 34.7 | 27.5 | 48.4 | 29.0 | 32.7 | 30.5 | 22.6 | 50.1 | 37.8 |
| | 所得区分1（n=198） | 42.4 | 22.7 | 42.9 | 29.8 | 37.4 | 34.8 | 19.7 | 47.0 | 40.4 |
| | 所得区分2（n=145） | 28.3 | 24.1 | 50.3 | 22.8 | 31.7 | 22.8 | 23.4 | 48.3 | 36.6 |
| | 所得区分3（n=43） | 30.2 | 48.8 | 60.5 | 46.5 | 18.6 | 39.5 | 32.6 | 58.1 | 32.6 |
| | | 仕事に就けるようになるための就労に関する支援 | 進学や就職についての情報の提供 | 特にない | その他 | 不明・無回答 | | | | |
| 小学5年生 | 全体（n=483） | 28.0 | 42.2 | 3.5 | 4.1 | 1.2 | | | | |
| | 所得区分1（n=218） | 28.0 | 45.4 | 2.8 | 6.0 | 0.5 | | | | |
| | 所得区分2（n=164） | 24.4 | 43.3 | 3.0 | 1.2 | 2.4 | | | | |
| | 所得区分3（n=41） | 36.6 | 34.1 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | | | | |
| 中学2年生 | 全体（n=455） | 27.3 | 42.9 | 5.3 | 4.8 | 2.4 | | | | |
| | 所得区分1（n=198） | 24.2 | 38.9 | 5.1 | 6.1 | 2.0 | | | | |
| | 所得区分2（n=145） | 24.8 | 48.3 | 6.9 | 4.1 | 0.7 | | | | |
| | 所得区分3（n=43） | 39.5 | 46.5 | 2.3 | 4.7 | 0.0 | | | | |